

No 135

2024年  
04-06月期

景気動向調査



巻頭 特集アンケート

「直近決算期の業績について」

「高齢従業員の活躍状況について」





## 目次

1. 特集アンケート	1
(1) 直近決算期の業績について	
(2) 高齢従業員の活躍状況について	
2. 全国の景気動向	16
3. 和歌山県内の景気動向	17
4. 今後の景気の見通し	24
5. 経営上の問題点	25
6. 県内経済指標	27

## 調査概要

### 1. 調査の対象

一般財団法人和歌山社会経済研究所が保有する企業名簿より 2,000 社を抽出。

### 2. 調査期間・調査方法

2024 年 5 月 31 日（金）～6 月 20 日（木）、郵送配付・郵送回収

### 3. 回収状況

	発送先数	回答社数	回答率 (%)	回答社数（地域別）			
				和歌山市	紀北地域	紀中地域	紀南地域
建設業	200	102	51.0%	46	18	12	26
製造業	400	173	43.3%	74	56	29	14
卸売業	300	112	37.3%	54	20	21	17
小売業	300	96	32.0%	43	20	18	15
サービス業	800	264	33.0%	132	52	29	51
全産業	2,000	747	37.4%	349	166	109	123

### 4. 地域区分

地域区分	市町村名
紀北地域	海南、紀美野、岩出、紀の川、橋本、かつらぎ、九度山、高野
紀中地域	有田、湯浅、広川、有田川、御坊、美浜、日高、由良、印南、みなべ、日高川
紀南地域	田辺、白浜、上富田、すさみ、新宮、那智勝浦、太地、古座川、北山、串本

# 1. 特集アンケート

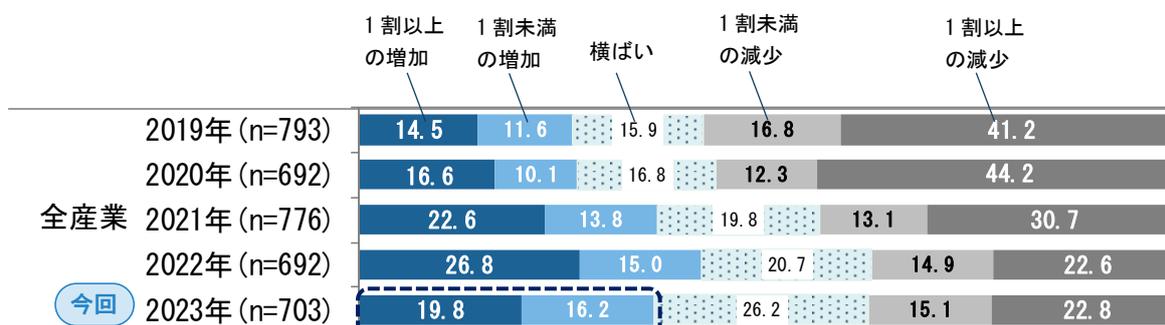
## (1) 直近決算期の業績について

### ① 質問 売上高の前年比増減【単一回答】

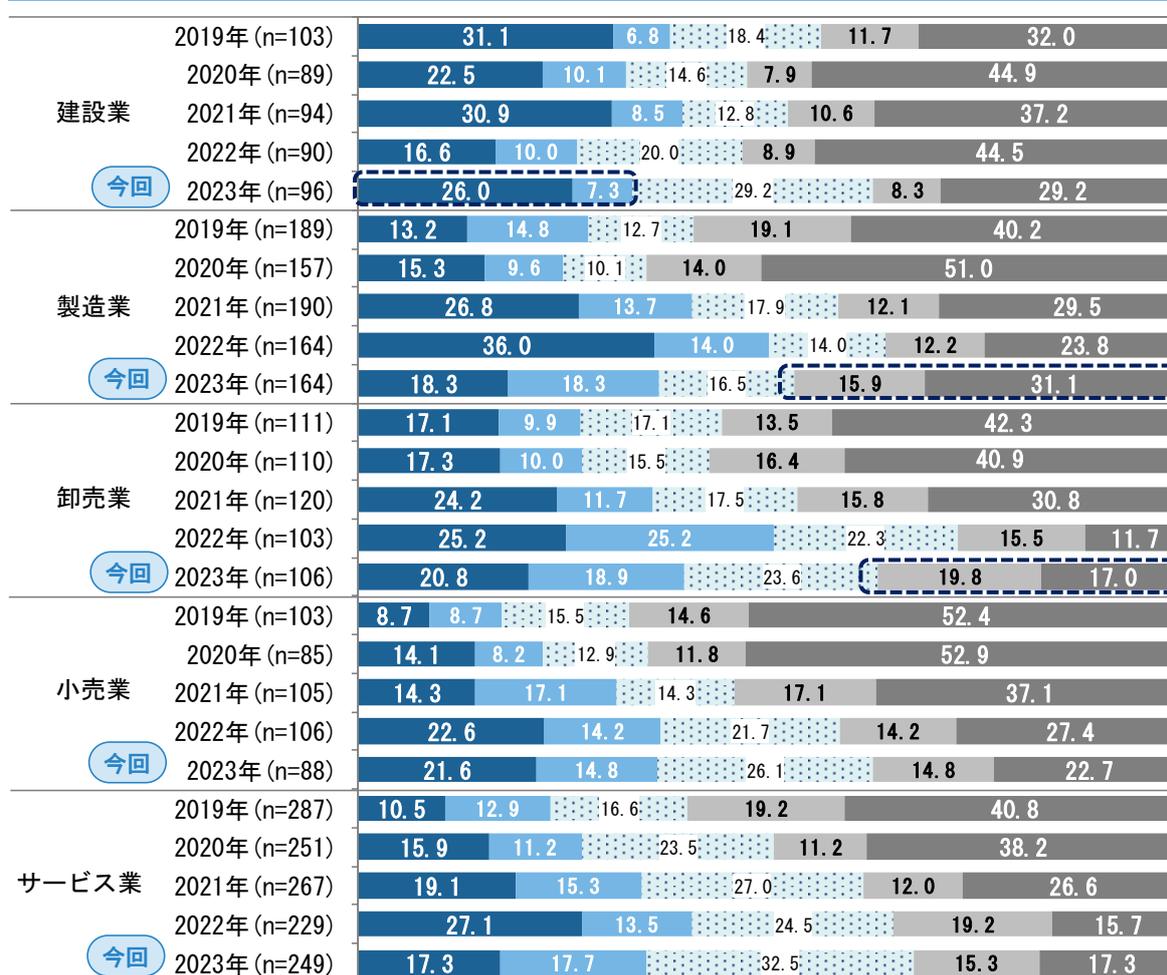
回答 4年ぶりに「増加」事業者が減少に転じ、持ち直しの動きが一服

- 要点
- ① 建設業のみ「増加」事業者が前年度より増加
  - ② 製造業、卸売業で「減少」事業者が前年度より増加

図表1 売上高の前年比増減



#### 産業別集計



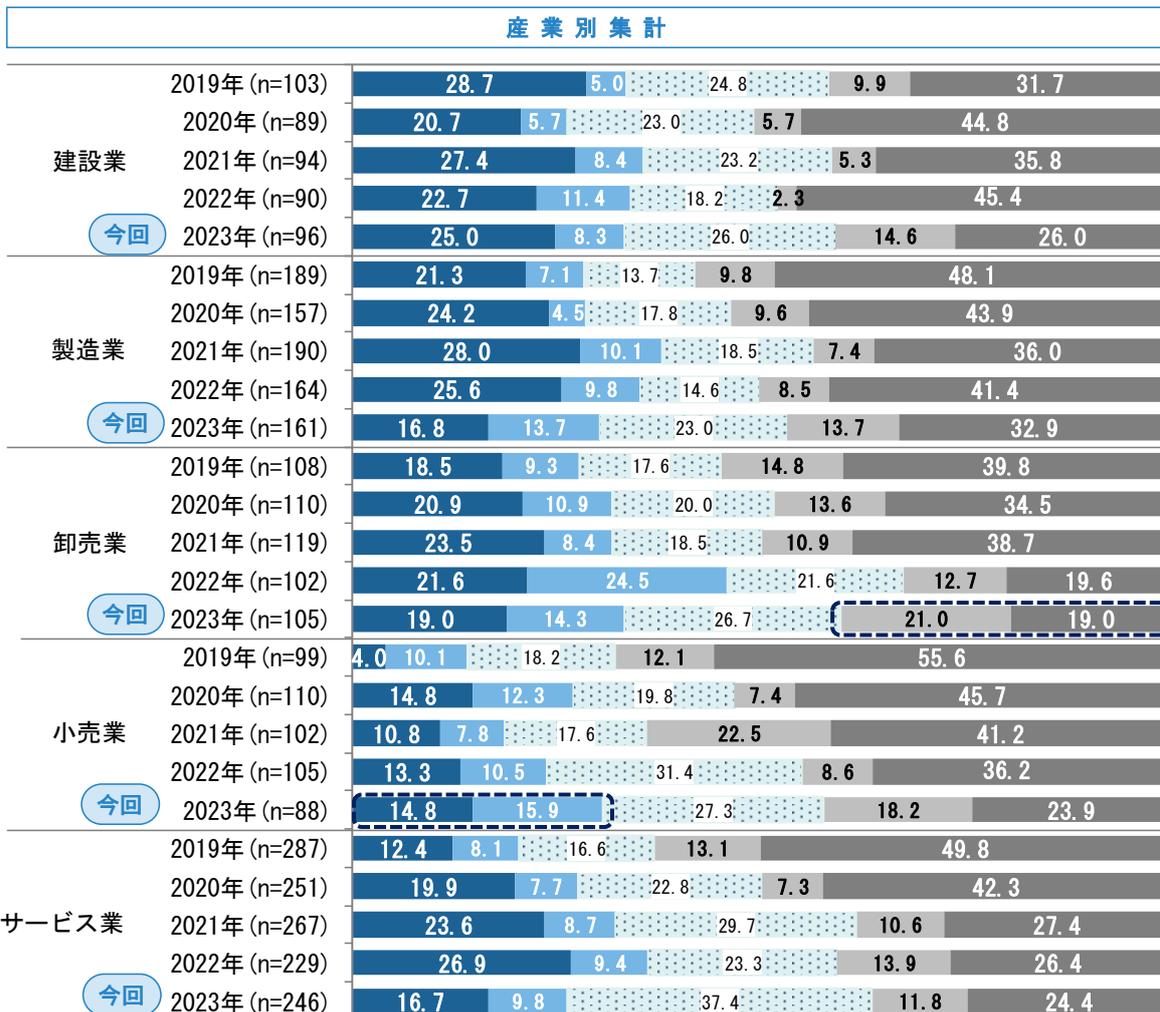
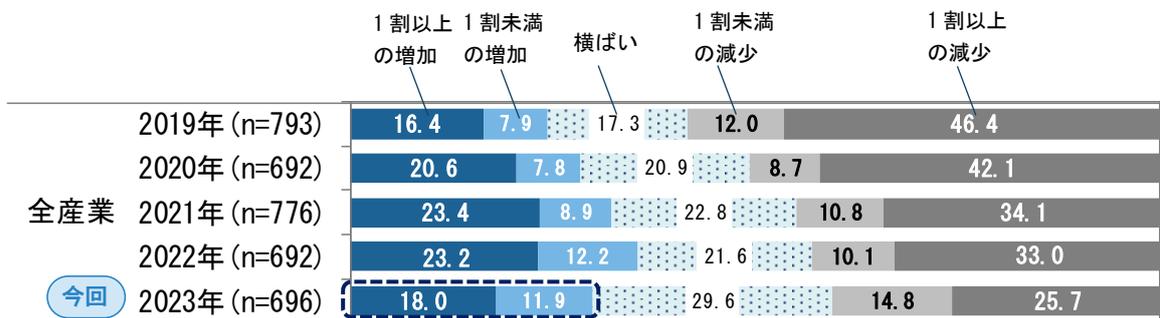
# (1) 直近決算期の業績について

## 2 質問 営業利益の前年比増減【単一回答】

回答 売上高と同様に「増加」事業者が4年ぶりに減少に転じ、持ち直しの動きが一服

- 要点
- ① 小売業のみ「増加」事業者が前年度より増加
  - ② 卸売業のみ「減少」事業者が前年度より増加

図表2 営業利益の前年比増減



# 1. 特集アンケート

## (1) 直近決算期の業績について

### 3 質問 売上高・営業利益の増減理由【複数回答】

回答 売上高の減少理由で、製造業の「国内需要の減少」との回答割合が最も高い

- 要点
- ① 売上高の増加理由で、卸売業の「販売・受注価格の上昇」が高い（図表3）
  - ② 売上高の減少理由で、卸売業・小売業・サービス業では「固定客・得意先の減少」が高い（図表3）
  - ③ 営業利益の減少理由で、「仕入れコストの増加」、「人件費の増加」が比較的高い（図表4）

図表3 売上高の増減理由（産業別に各上位3つまで表記）

	増加理由						減少理由					
	1位	回答割合 (%)	2位	回答割合 (%)	3位	回答割合 (%)	1位	回答割合 (%)	2位	回答割合 (%)	3位	回答割合 (%)
建設業 (増加 n=30) (減少 n=35)	民間建設 工事の増 加	50.0	公共工事 の増加	43.3	販売・受 注価格の 上昇	30.0	民間建設 工事の減 少	54.3	公共工事 の減少	54.3	人手不足 等	20.0
製造業 (増加 n=57) (減少 n=74)	販売・受 注価格の 上昇	42.1	国内需要 の増加	36.8	新規取引 先の増加	33.3	国内需要 の減少	81.1	海外需要 の減少	20.3	取引先の 減少等	14.9
卸売業 (増加 n=41) (減少 n=37)	販売・受 注価格の 上昇	68.3	新規取引 先・顧客 の増加	41.5	その他	14.6	固定客・ 得意先の 減少	51.4	販売・受 注価格の 低下	27.0	その他	27.0
小売業 (増加 n=31) (減少 n=31)	新規取引 先・顧客 の増加	45.2	その他	29.0	販売・受 注価格の 上昇	25.8	固定客・ 得意先の 減少	74.2	販売・受 注価格の 低下	19.4	その他	19.4
サービス業 (増加 n=80) (減少 n=76)	新規取引 先・顧客 の増加	35.0	販売・受 注価格の 上昇	31.3	その他	25.0	固定客・ 得意先の 減少	46.1	同業他社 との競合 激化	26.3	その他	23.7

(\*) 産業名の下に記している n は有効回答数。増加理由、減少理由ごとに記載。

図表4 営業利益の増減理由（産業別に各上位3つまで表記）

	増加理由						減少理由					
	1位	回答割合 (%)	2位	回答割合 (%)	3位	回答割合 (%)	1位	回答割合 (%)	2位	回答割合 (%)	3位	回答割合 (%)
建設業 (増加 n=26) (減少 n=35)	既存事業 の売上増	65.5	価格転嫁 の進捗	17.2	作業過程 の効率化	17.2	販売量・ 受注量の 減少	54.3	仕入れコ ストの増 加	54.3	人件費の 増加	37.1
製造業 (増加 n=49) (減少 n=72)	既存事業 の売上増	51.0	価格転嫁 の進捗	28.6	新規事業 の売上増	20.4	販売量・ 受注量の 減少	65.3	仕入れコ ストの増 加	65.3	人件費の 増加	38.9
卸売業 (増加 n=30) (減少 n=42)	既存事業 の売上増	46.7	価格転嫁 の進捗	43.3	新規事業 の売上増	20.0	販売量・ 受注量の 減少	59.5	仕入れコ ストの増 加	45.2	人件費の 増加	23.8
小売業 (増加 n=26) (減少 n=34)	既存事業 の売上増	50.0	価格転嫁 の進捗	26.9	新規事業 の売上増	19.2	販売量・ 受注量の 減少	47.1	仕入れコ ストの増 加	47.1	人件費の 増加	23.5
サービス業 (増加 n=62) (減少 n=86)	既存事業 の売上増	53.2	新規事業 の売上増	19.4	その他	16.1	人件費の 増加	48.8	販売量・ 受注量の 減少	47.7	仕入れコ ストの増 加	34.9

(\*) 産業名の下に記している n は有効回答数。増加理由、減少理由ごとに記載。

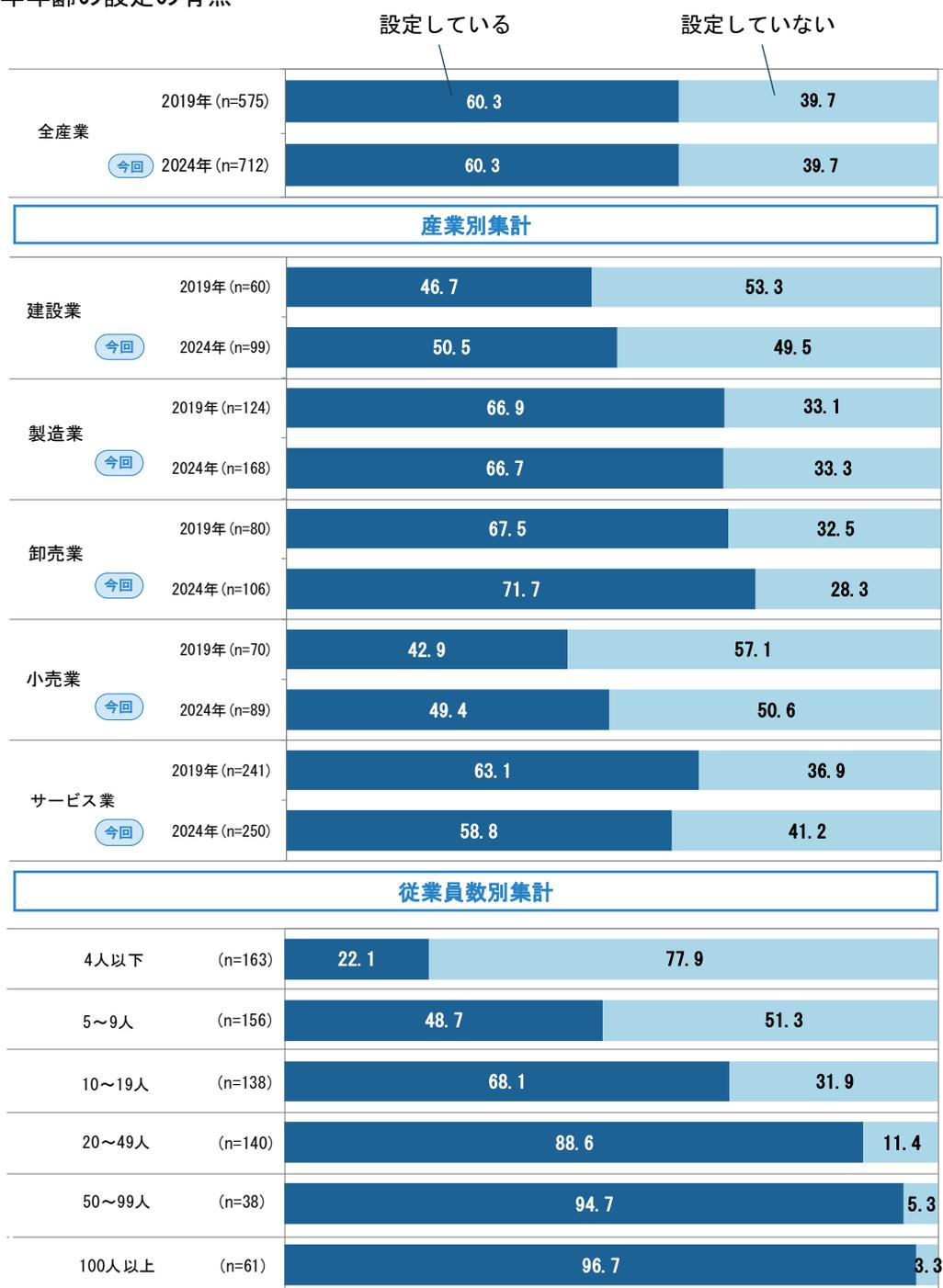
## (2) 高齢従業員の活躍状況について

### 4 質問 定年年齢の設定状況は？【単一回答】

**回答** 全産業での定年年齢の設定状況は、5年前調査から変化なし

- 要点**
- ① 建設業、卸売業、小売業で定年年齢を「設定している」との回答が前回より増加
  - ② 20人以上の従業員を雇用する事業者は、9割以上が定年年齢を設定している

図表5 定年年齢の設定の有無



# 1. 特集アンケート

## (2) 高齢従業員の活躍状況について

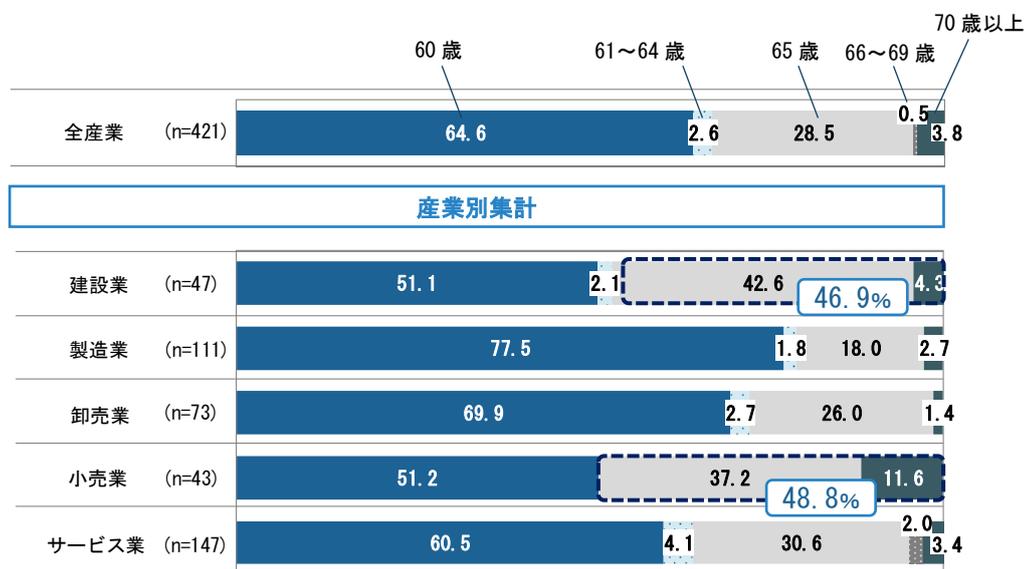
### 5 質問 設定している定年年齢は？【単一回答】

**回答** 「60歳」を定年とする事業者が64.6%で最多。「65歳」が28.5%で次に多い

- 要点**
- ① 製造業で「60歳」との回答が他の産業と比較して最も多い
  - ② 定年を65歳以上とする事業者は建設業と小売業で多い

図表6 設定している定年年齢

(\*) 質問④で「設定している」と回答した事業者のみに質問



## (2) 高齢従業員の活躍状況について

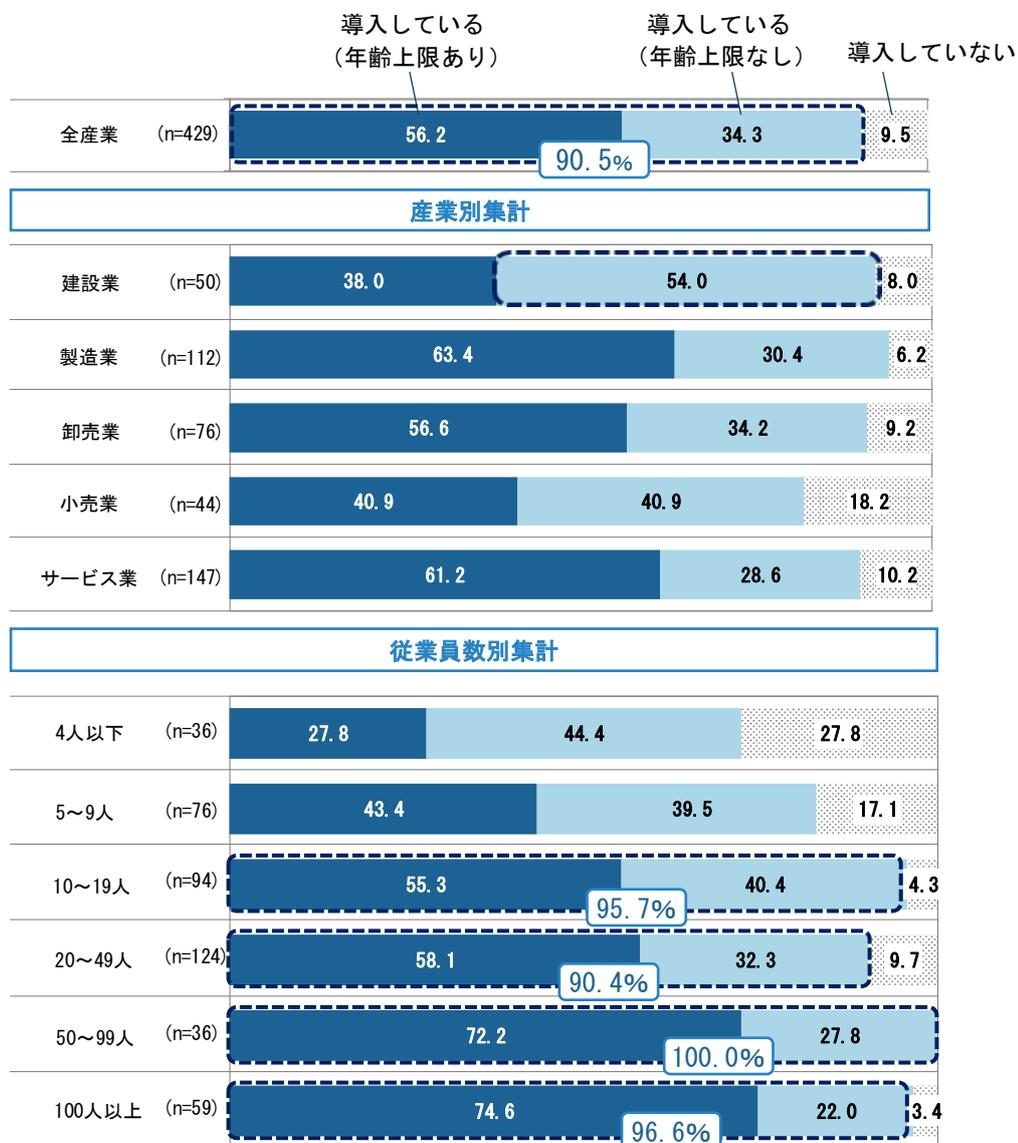
### 6 質問 継続雇用制度(勤務延長や再雇用制度等)の導入状況は？【単一回答】

回答 9割以上の事業者が導入しており、うち3割は年齢上限なし

- 要点
- ① 建設業では、「導入している(年齢上限なし)」の事業者が5割を超える
  - ② 10人以上の事業者では、9割以上が導入している

図表7 継続雇用制度の導入の有無

(\*) 質問④で「設定している」と回答した事業者のみに質問



# 1. 特集アンケート

## (2) 高齢従業員の活躍状況について

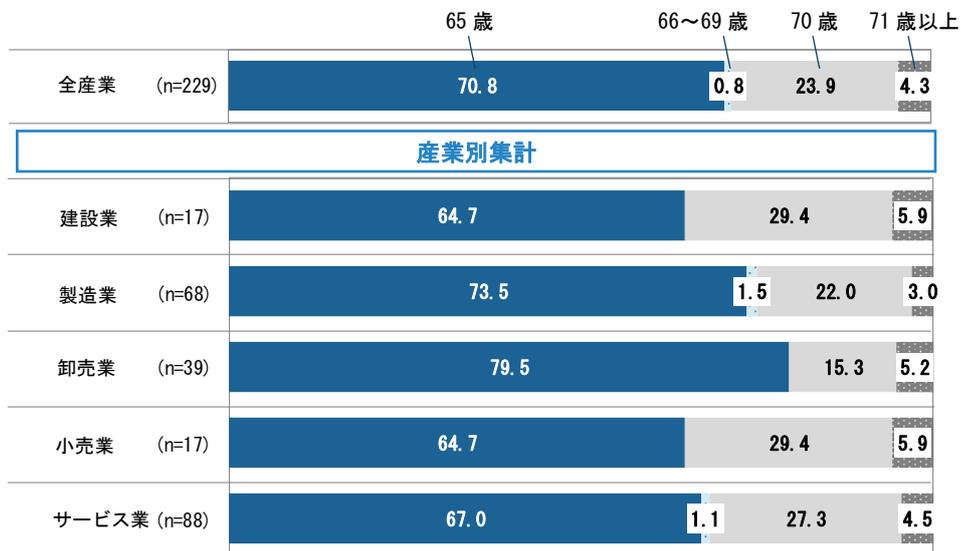
### 7 質問 継続雇用制度で設定している年齢上限は？【単一回答】

**回答** 「65歳」と回答した事業者が7割を超える

- 要点**
- ① 特に製造業、卸売業で「65歳」を年齢上限と設定する事業者が多い
  - ② 建設業、小売業、サービス業で「70歳」を年齢上限と設定する事業者が3割近い

図表8 継続雇用制度に設定している年齢

(\*) 質問⑥で「導入している(年齢上限あり)」と回答した事業者のみに質問



## (2) 高齢従業員の活躍状況について

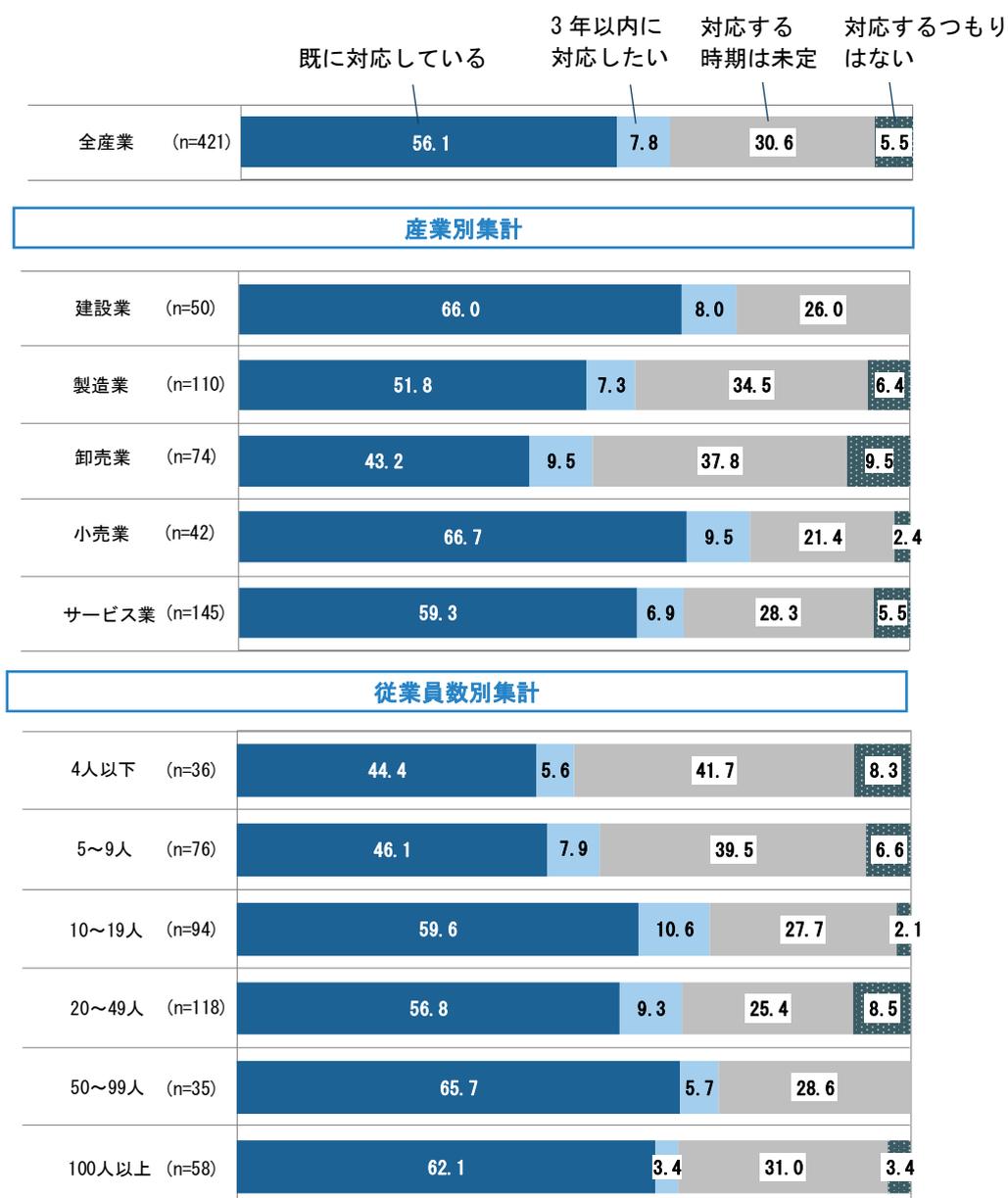
### 8 質問 「70歳までの就業機会の確保(努力義務)」への対応状況は？【単一回答】

回答 「既に対応している」と回答した事業者は、過半数を占める

- 要点
- ① 特に建設業、小売業で対応が進んでいる
  - ② 50人以上の従業員を雇用する事業者では、6割以上が対応している

図表9 70歳までの就業機会の確保に関する対応状況

(\*) 質問④で「設定している」と回答した事業者のみに質問



# 1. 特集アンケート

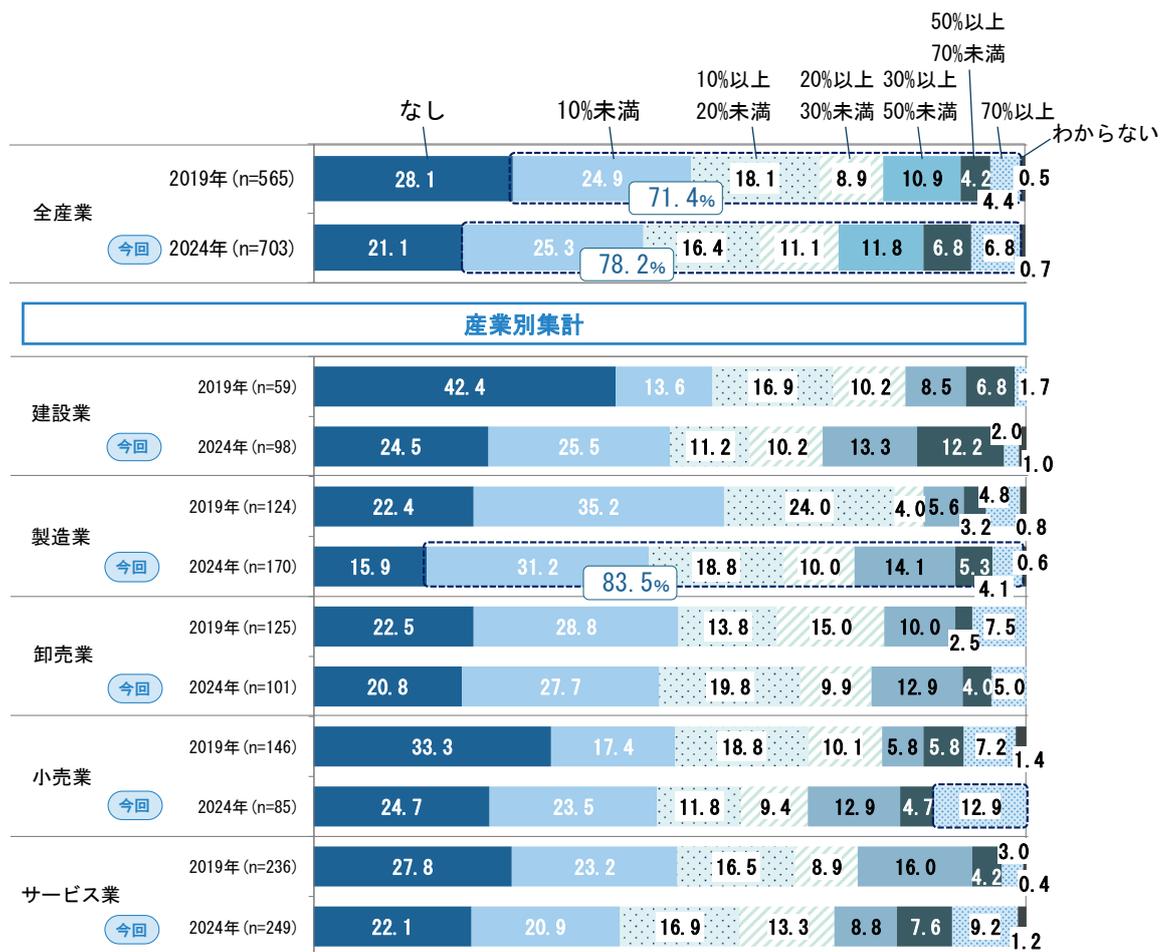
## (2) 高齢従業員の活躍状況について

### 9 質問 全従業員に占める高齢従業員（60歳以上）の割合は？【単一回答】

**回答** 高齢従業員（60歳以上）がいる事業者は78.2%で、5年前調査から6.8ポイント増加

- 要点**
- ① 特に製造業では、高齢従業員（60歳以上）がいる事業者は、8割以上を占める
  - ② 小売業では、高齢従業員（60歳以上）の割合が「70%以上」の事業者が12.9%を占める

図表10 高齢従業員（60歳以上）の割合



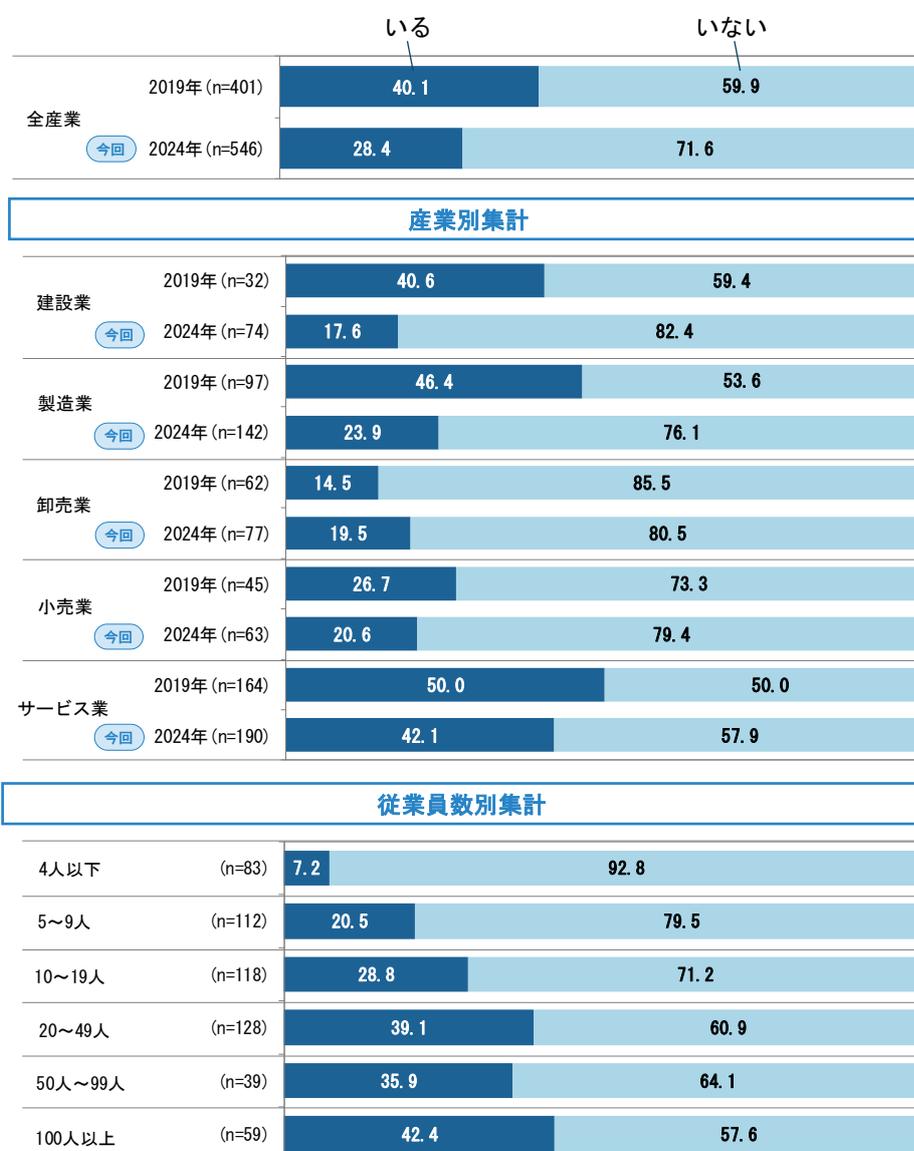
## (2) 高齢従業員の活躍状況について

### 10 質問 60歳以上で新たに採用した従業員はいるか？【単一回答】

**回答** 「いる」と回答した事業者は28.4%で、5年前調査から11.7ポイント減少

- 要点**
- ① 特に建設業、製造業で「いる」と回答した割合が前回調査より20ポイント超減少
  - ② 卸売業では、「いる」と回答した割合が前回調査より5.0ポイント増加
  - ③ 従業員規模の大きい事業者では、「いる」と回答した割合が高い

図表 11 60歳以上で新たに採用した従業員の有無



# 1. 特集アンケート

## (2) 高齢従業員の活躍状況について

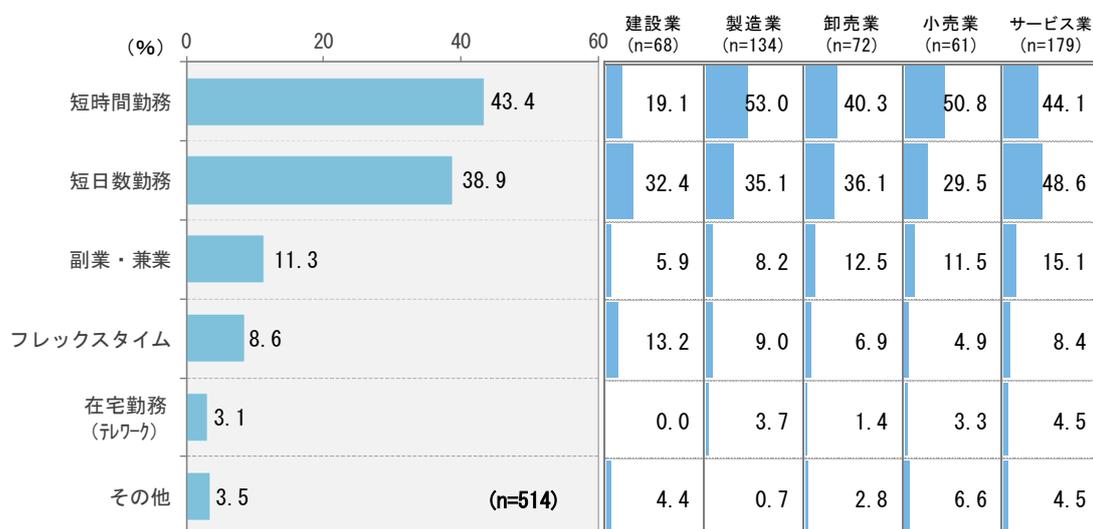
### 11 質問 貴社で認めている勤務形態は？【複数回答】

回答 「短時間勤務」が43.4%で最多。「短日数勤務」が38.9%で次に多い

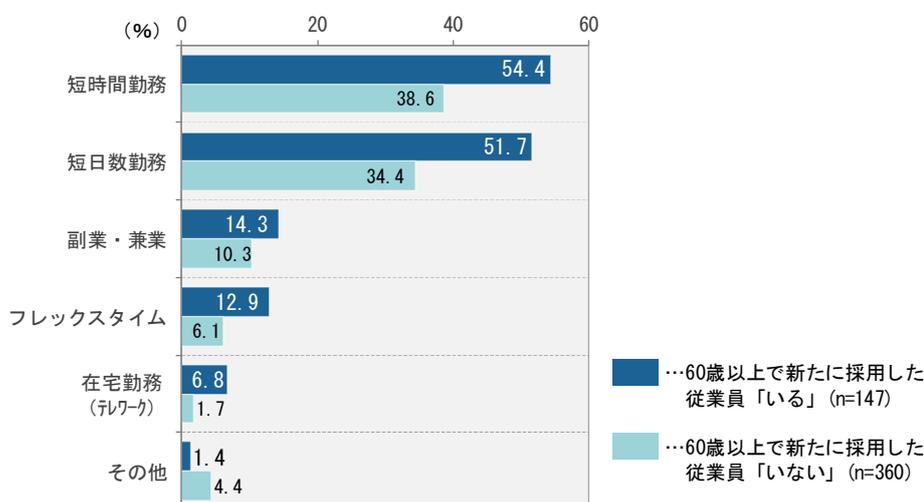
#### 要点

- ① 製造業、小売業で「短時間勤務」が5割強を占める（図表12）
- ② サービス業で「短日数勤務」、「副業・兼業」との回答が他産業と比較して多い（図表12）
- ③ 60歳以上で新たに採用した従業員がいる事業者では、「短時間勤務」、「短日数勤務」を認めている事業者が多い（図表13）

図表12 高齢従業員に対して認めている勤務形態



図表13 高齢従業員に対して認めている勤務形態（60歳以上で新たに採用した従業員の有無別）



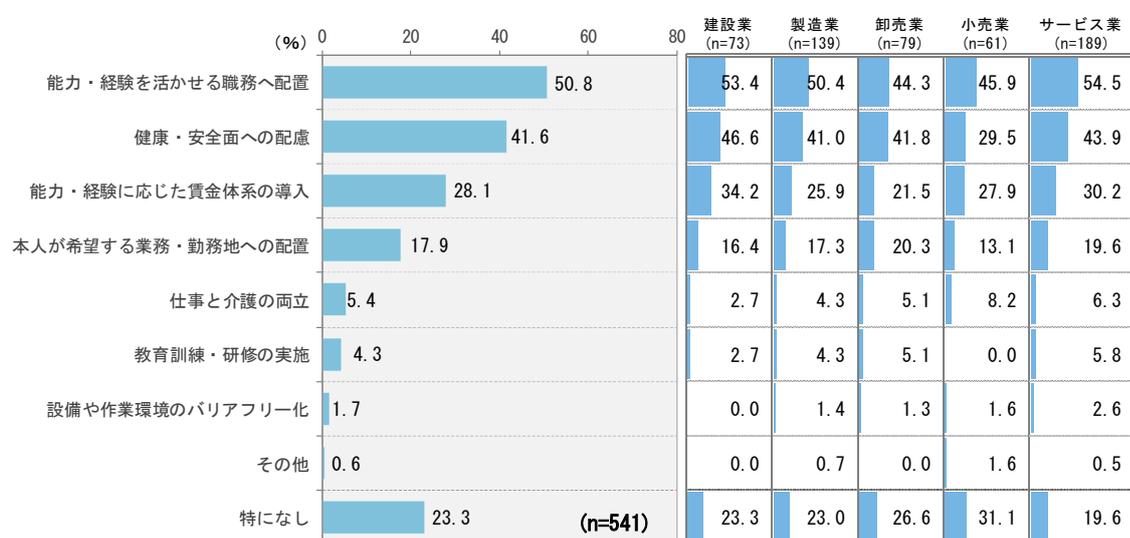
## (2) 高齢従業員の活躍状況について

### 12 質問 高齢従業員の活躍推進のために取り組んでいることは？【複数回答】

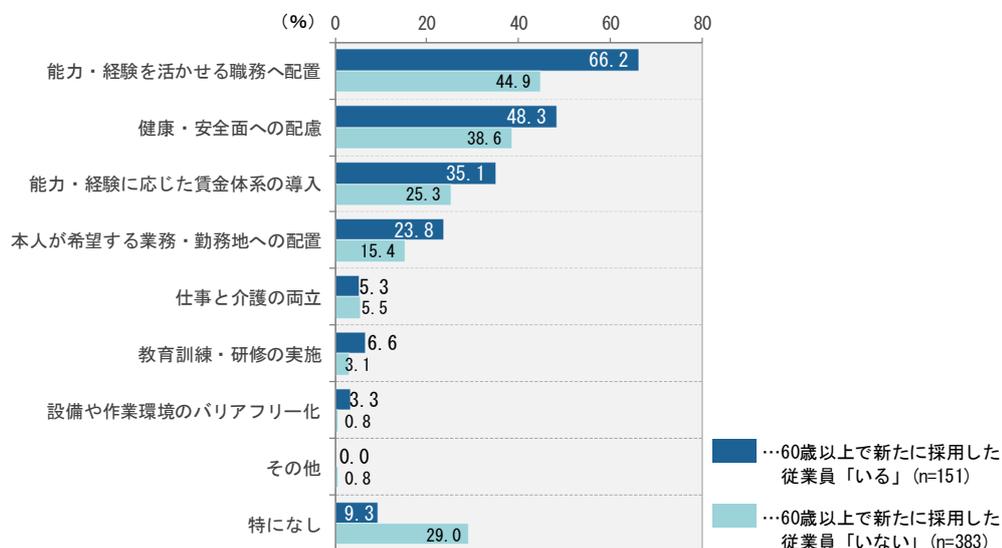
回答 「能力・経験を活かせる職務へ配置」が50.8%で最多

- 要点
- ① 建設業・サービス業で「能力・経験を活かせる職務へ配置」が他と比較して多い
  - ② 建設業で「能力・経験に応じた賃金体系の導入」が他と比較して多い

図表 14 活躍推進のために実施している取組み



参考図表 活躍推進のために実施している取組み（60歳以上で新たに採用した従業員の有無別）



# 1. 特集アンケート

## (2) 高齢従業員の活躍状況について

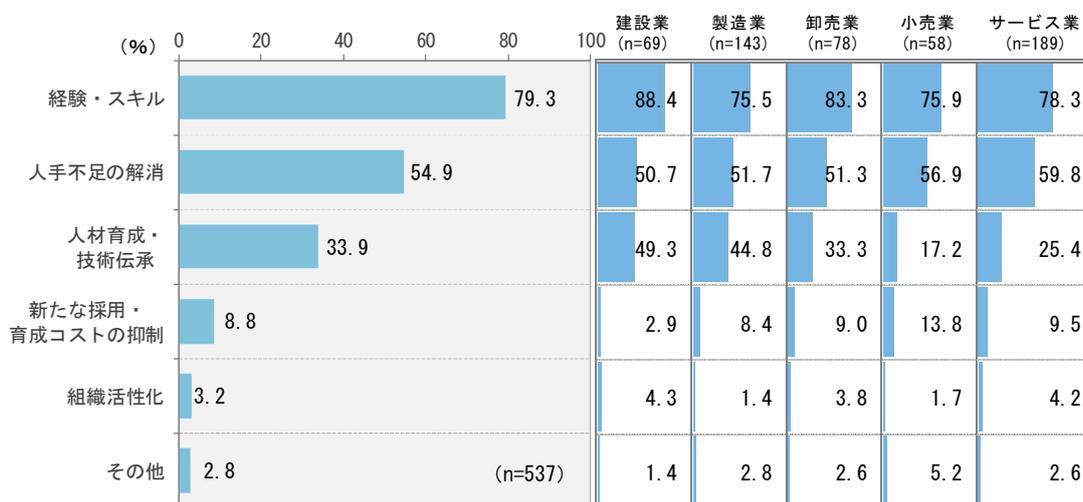
### 13 質問 高齢従業員に期待することは？【複数回答】

回答 「経験・スキル」が79.3%で最多。「人手不足の解消」が54.9%で次に多い

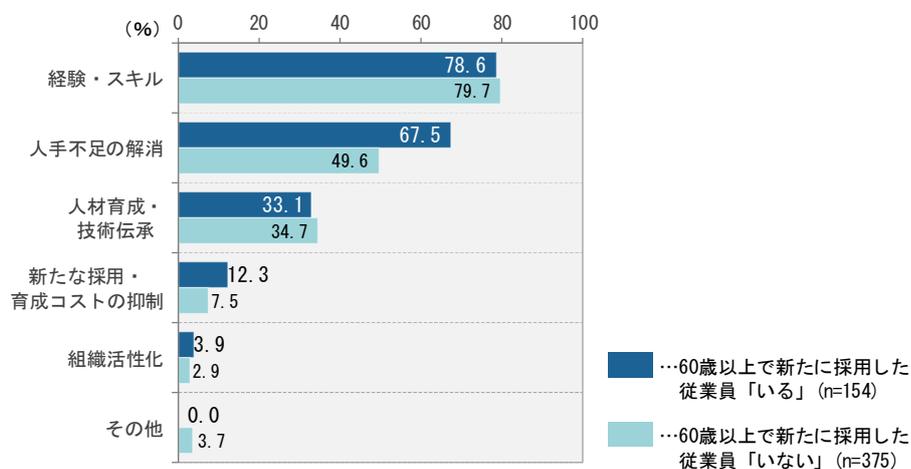
#### 要点

- ① 「経験・スキル」は、全産業において80%前後となっている（図表15）
- ② 「人材育成・技術伝承」は、特に建設業、製造業で多くなっている（図表15）
- ③ 60歳以上で新たに採用した従業員がいる事業者が期待する点では、「人手不足の解消」が多い（図表16）

図表15 高齢従業員に期待する点



図表16 高齢従業員に期待する点（60歳以上で新たに採用した従業員の有無別）



## (2) 高齢従業員の活躍状況について

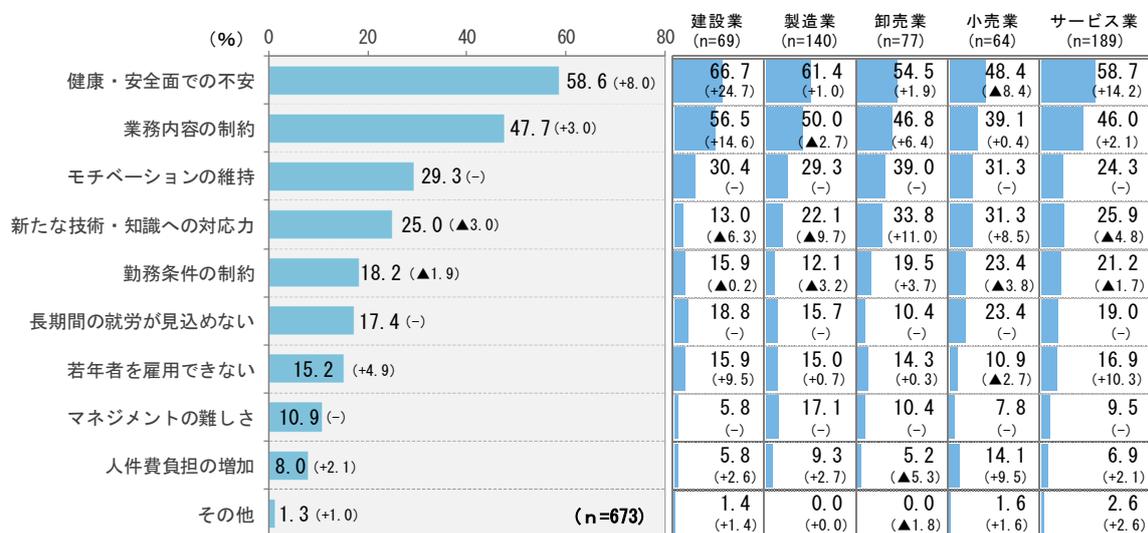
### 14 質問 高齢従業員の活躍推進における課題は？【複数回答】

回答 「健康・安全面での不安」が58.6%で最多。「業務内容の制約」が次に多い

- 要点
- ① 建設業、サービス業で「健康・安全面での不安」が前回調査よりも大幅に増加
  - ② 建設業で「業務内容の制約」が前回調査よりも14.6ポイント増加しており、他の産業と比較しても多い

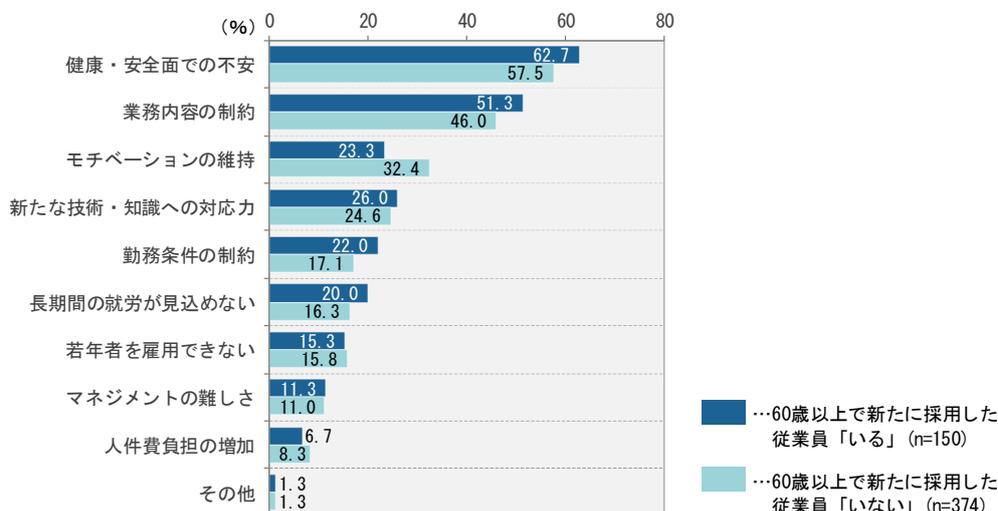
図表 17 高齢従業員の活躍推進における課題について

(\*) 質問⑨で、高齢従業員は「なし」と回答した事業者は除いて集計。



(\*) 図表にある ( ) 内の値は、5年前に実施した調査結果との比較値。例えば、(+8.0) は、5年前に比べて8.0ポイント回答割合が上昇したことを意味する。また、(-) は5年前の調査では選択肢になかった項目のこと。

参考図表 高齢従業員の活躍推進における課題 (60歳以上で新たに採用した従業員の有無別)



## 1. 特集アンケート

### (2) 高齢従業員の活躍状況について

#### 15 高齢従業員の活躍推進に関する自由意見

	高齢従業員の活躍推進について（自由意見）
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでの人生経験から得た固定概念に固執し、新しいことへの対応が難しい</li><li>・ 若手従業員との認識のずれが生じやすい</li><li>・ 高齢従業員の割合が増加すれば、どうしても一人当たりの生産性が下がる</li><li>・ 作業中の事故等で大きなケガにつながりやすいので、難しい</li><li>・ 高齢従業員の雇用を増やす考えだけでは、組織・従業員の考え方に関する新陳代謝が起きづらい</li><li>・ 若年者への業務スキルや技術の伝承</li></ul>
取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 賃金規定、就業規定等の見直しを図り、本人のモチベーションアップに繋げる</li><li>・ 在籍の従業員に対し、様々な業務を経験させ、高齢になってもできる仕事を身につけさせている</li><li>・ 個人の能力にあった仕事に振り分ける。過度な期待はしない</li><li>・ 高齢従業員にしかできない仕事の創出</li><li>・ モチベーションの維持</li><li>・ 高齢従業員の働きに対する評価基準を明確にし、理解を得ること</li><li>・ 健康面、業務内容について問題がなければ、継続雇用する年齢を条件付きで引き上げている</li><li>・ 毎日の健康状態の確認等、コミュニケーションの機会を増やす</li><li>・ 健康管理のサポート</li><li>・ 前職のスキルを最大限に発揮できる環境づくり</li><li>・ 世代間で価値観の違いを認め合える社風づくりと人間関係の構築が重要</li><li>・ 再雇用制度は、長年の経験・スキルを活かすためにも必要</li><li>・ 70歳の従業員を雇用している。体力面を考慮し、自身のペースを優先して作業している</li><li>・ 従業員の半分以上が高齢従業員。皆で助け合いながら仕事をしている</li><li>・ 事業所が位置する地域一帯は、過疎高齢化が進んでおり、世間一般の定年を超えてもまだ現役と考える人が多い。その為、労働災害にならないよう留意している</li><li>・ 高齢従業員を新規雇用する予定はないが、自社で定年退職となる人材は、雇用を継続する。（その他、既存の従業員を長く雇用したい）</li></ul>

## 2. 全国の景気動向

### 1 日銀短観で見る全国の景気概況

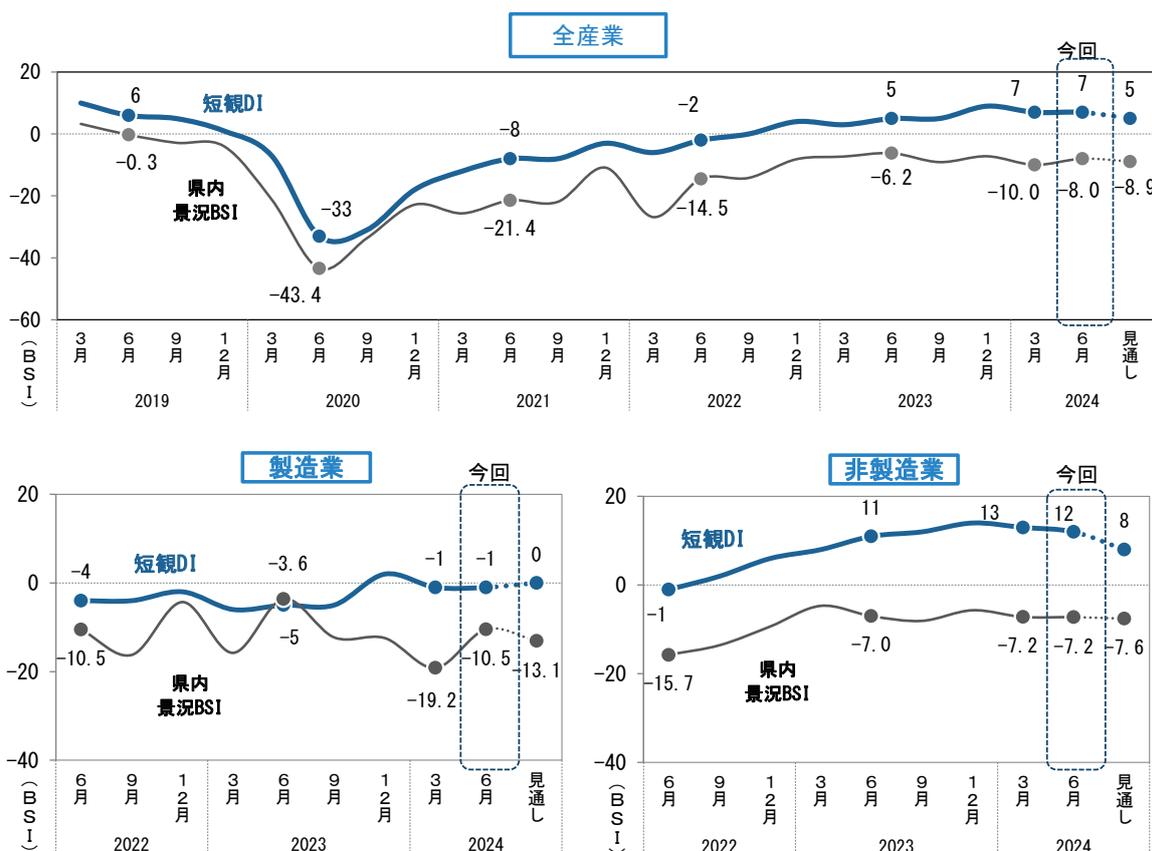
総括

日本国内の景況感を示す短観DI（中小企業）は横ばい  
和歌山県内の景況感を示す県内景況BSIは2期ぶりに上昇（上昇幅は2.0ポイント）

要点

- 短観DIは、コロナ禍から持ち直しの一服感で横ばいに推移
- 短観DIでは「宿泊・飲食サービス業」等で業況悪化
- 反対に、「自動車製造」、「電気・ガス業」、「通信業」で業況改善

図表 日銀短観DI（中小企業）と県内景況BSIの推移



### 2 2024年4~6月における主な出来事

4月	タクシーの人手不足対策として自家用車を使って客を運ぶライドシェアが東京で初解禁（8日） 日経新聞社の採用計画調査で、今年度の採用計画に占める中途採用の比率が5割に迫る（8日） 外国為替市場は、34年ぶりとなる1ドル160円台まで値下がり（29日）
5月	トヨタ自動車の2024年3月決算では、営業利益が5兆円を超え、日本企業では初（8日） NYダウ平均株価が終値で初となる4万ドルを超える（19日） 経団連が発表した大企業の賃上げ率は、平均値5.58%で33年ぶりの高水準（21日） 日本銀行の早期利上げ観測により長期金利が11年ぶりとなる1%台へ（23日） 4年ぶりとなる日中韓首脳会談を実施。FTA交渉加速へ（28日）
6月	自動車の型式認証を巡る不正問題について国交省は、トヨタ等5社に立ち入り検査へ（4日） 厚生省が発表した2023年の出生率は、1.20で過去最低を更新（4日） 欧州中央銀行は、4年ぶりに政策金利の利下げ（0.25%）を決定（7日） 日本銀行は、金融政策決定会合で長期国債の買入れを減額する方針を決定（14日） 日本政府観光局が発表した5月の訪日外国人は、3ヵ月連続で300万人を超えた（19日）

### 3. 和歌山県内の景気動向

#### ① 全産業の景況感

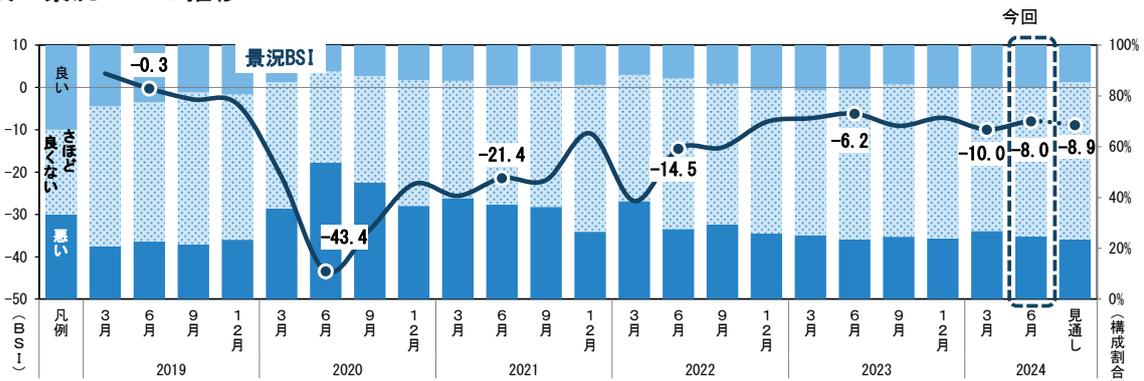
総括

景況 BSI は 2.0 ポイント上昇。製造業、小売業での景況感の改善により県内景況は堅調に推移

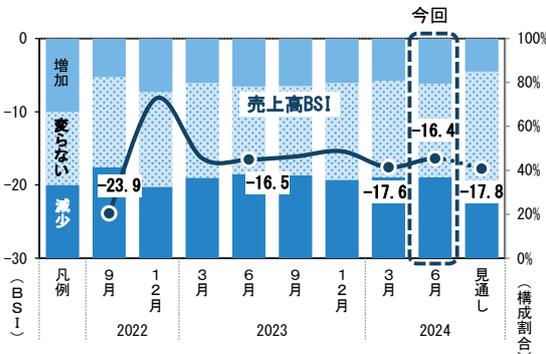
要点

- ① 特に製造業で景況 BSI が 8.7 ポイント上昇
- ② 小売業の景況 BSI は、今後も持ち直しの動きが続く見通し

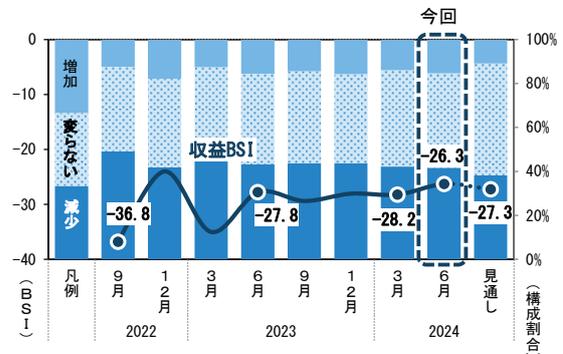
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	今回	見通し
	過去実績									
仕入価格 前期比	71.2	67.5	59.6	59.7	58.7	56.7	62.3	51.9		
販売価格 前期比	34.7	31.1	27.9	29.0	25.9	27.4	29.5	25.2		
在庫 前期比	5.6	1.7	1.6	-3.1	-0.3	0.8	-0.5	-5.5		
資金繰り 前期比	-10.2	-12.7	-10.7	-9.7	-9.6	-11.0	-13.7	-12.5		
借入 前期比	-5.9	-5.7	-7.6	-8.0	-4.6	-5.6	-8.7	-8.5		
所定外労働時間 前期比	-2.9	-5.3	-10.9	-9.1	-3.7	-9.7	-10.3	-8.1		
雇用者数 前期比	-3.6	-5.1	-4.3	-4.5	-5.8	-4.1	0.5	-1.7		
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-32.7	-32.1	-28.4	-28.4	-37.3	-30.7	-26.3	(調査なし)		
設備投資実施比率 (%)	22.2	22.0	23.0	23.7	23.7	21.6	19.6	28.4		

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 産業別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024		2024						
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9							
	過去実績								今回	見通し					
全産業	-8.2	↔	-7.3	↔	-6.2	↘	-9.1	↔	-7.2	↘	-10.0	↔	-8.0	↘	-8.9
建設業	-2.2	↔	0.0	↘	-1.1	↔	0.0	↔	10.5	↘	-1.2	↘	-5.0	↔	-2.1
製造業	-4.3	↘	-15.8	↔	-3.6	↘	-12.3	↘	-12.4	↘	-19.2	↔	-10.5	↘	-13.1
卸売業	-5.0	↔	0.0	↘	-13.1	↔	-11.1	↔	-6.5	↘	-7.0	↘	-10.2	↔	-9.5
小売業	-32.0	↔	-13.7	↘	-20.4	↔	-17.0	↘	-28.7	↔	-23.4	↔	-18.8	↔	-14.9
サービス業	-4.3	↘	-5.2	↔	0.0	↘	-6.2	↔	-3.6	↔	-2.0	↘	-2.7	↘	-6.3

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 従業員規模別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024		2024						
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9							
	過去実績								今回	見通し					
全体	-8.2	↔	-7.0	↔	-6.1	↘	-9.1	↔	-6.7	↘	-10.0	↔	-8.3	↘	-9.5
4人以下	-18.8	↔	-9.6	↘	-11.9	↘	-16.9	↘	-22.6	↔	-22.3	↘	-22.9	↔	-21.0
5~9人	-12.2	↔	-5.3	↘	-17.4	↔	-14.6	↔	-9.0	↘	-14.7	↔	-7.5	↘	-16.2
10~19人	-5.4	↘	-10.3	↔	-1.3	↘	-8.3	↔	-2.0	↘	-8.5	↘	-13.1	↔	-7.0
20~29人	-11.4	↔	-8.5	↔	-6.2	↘	-8.3	↔	0.0	↘	-10.5	↔	-1.6	↔	1.7
30~49人	-2.9	↘	-10.1	↔	5.9	↘	-1.2	↔	1.5	↘	1.4	↘	-1.3	↘	-11.8
50~99人	19.4	↘	-5.0	↔	19.4	↘	12.5	↘	12.2	↔	20.0	↘	7.3	↘	-2.6
100人以上	1.5	↔	6.1	↘	-3.0	↔	-2.9	↔	1.4	↘	-3.1	↔	16.4	↔	19.7

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 地域別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024		2024						
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9							
	過去実績								今回	見通し					
和歌山市	-5.7	↔	-5.1	↔	-4.7	↘	-9.8	↔	-1.5	↘	-7.7	↔	-6.1	↘	-7.8
紀北地域	-12.9	↔	-12.1	↔	-10.6	↘	-13.6	↘	-23.0	↔	-16.0	↔	-13.9	↔	-12.6
紀中地域	-8.7	↘	-9.0	↔	-1.0	↘	-5.2	↔	-3.3	↘	-11.6	↔	-10.2	↔	-7.8
紀南地域	-8.5	↔	-5.9	↘	-8.2	↔	-5.4	↘	-5.8	↘	-7.2	↔	-3.3	↘	-7.8

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

(参考) 図表の見方

景況 BSI	景気を「良い」とした事業者割合から「悪い」とした割合を引き算
売上高 BSI	前期に比べて売上高が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
収益 BSI	前期に比べて収益が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
仕入価格 BSI	前期に比べて仕入価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
販売価格 BSI	前期に比べて販売価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
在庫 BSI	前期に比べて在庫が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
資金繰り BSI	前期に比べて資金繰りが「改善」した事業者割合から「悪化」の割合を引き算
借入 BSI	前期に比べて借入が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
所定外労働時間 BSI	前期に比べて残業時間が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用者数 BSI	前期に比べて雇用者数が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用適正度	従業員数が「過剰」と回答した事業者割合から「不足」の割合を引き算
設備投資実施比率	当該期間において、設備投資を実施した事業者の割合

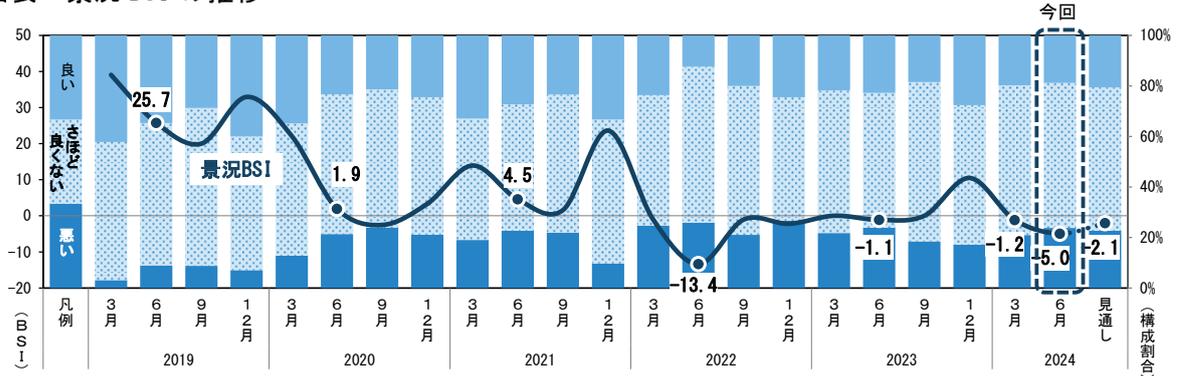
### 3. 和歌山県内の景気動向

#### 2 建設業の景況感

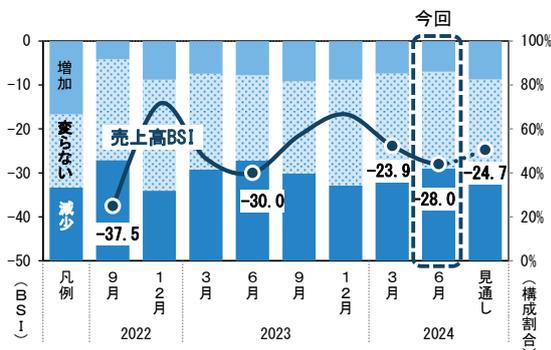
総括 景況 BSI は 3.8 ポイントの下降

- 要点
- ① 例年の動きにより「4-6 月期」は工事出来高が少なく、全体的に景況感は下降
  - ② 人手不足感が非常に強い（雇用適正度が非常に低い）

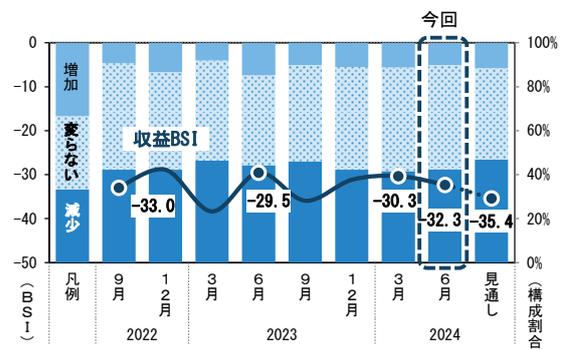
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	今回	見通し
	過去実績									
仕入価格 前期比	71.3	72.9	64.4	60.7	58.5	54.5	64.6	53.8		
販売価格 前期比	(調査なし)								(調査なし)	(調査なし)
在庫 前期比	(調査なし)								(調査なし)	(調査なし)
資金繰り 前期比	1.1	-6.9	-9.9	-4.3	-5.6	0.0	-6.9	-10.4		
借入 前期比	-4.5	3.1	-4.7	-6.9	-2.8	-4.8	-4.1	-7.5		
所定外労働時間 前期比	-1.1	-8.0	-27.2	-23.9	-10.2	-3.3	-20.6	-13.3		
雇用者数 前期比	-1.1	-2.0	-7.9	-7.8	-2.8	-6.7	-3.0	-4.1		
雇用適正度(値が低いほど「不足」)	-40.0	-50.5	-36.9	-36.7	-51.5	-44.3	-46.4	(調査なし)		
設備投資実施比率(%)	19.5	22.6	11.5	18.0	20.8	7.0	14.9	28.9		

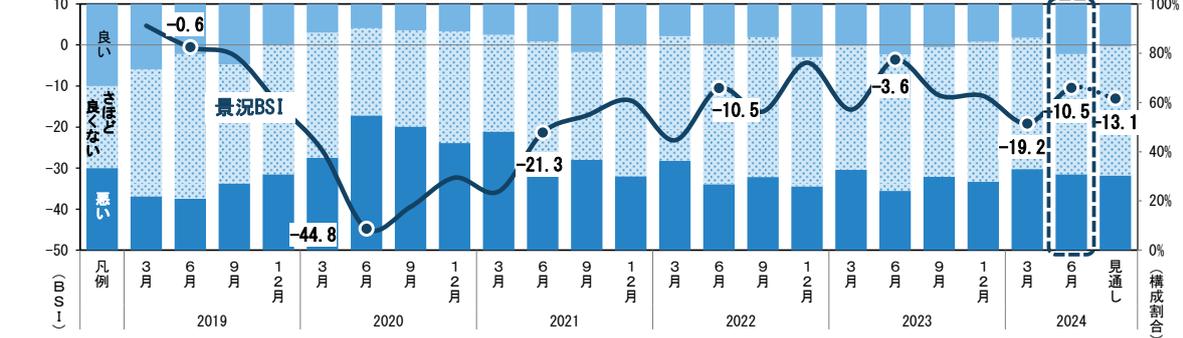
(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

### 3 製造業の景況感

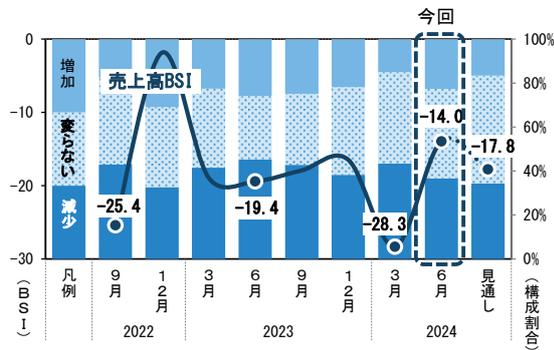
総括 景況 BSI は 3 期ぶりに上昇（上昇幅は 8.7 ポイント）

- 要点
- ① 食料品製造業で、景況感はプラスの水準まで上昇
  - ② 仕入れ価格 BSI は依然として高く、価格上昇懸念が強い

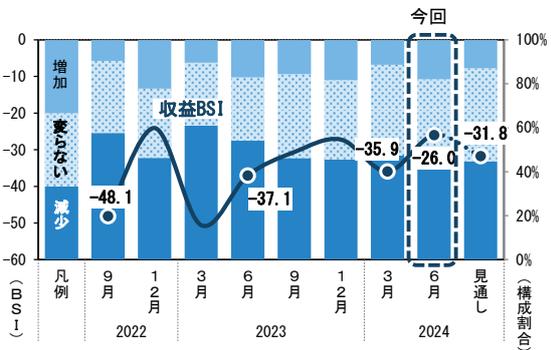
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	今回	見通し
仕入れ価格 前期比	71.0	72.4	59.4	55.5	56.5	55.4	63.0	51.8		
販売価格 前期比	28.1	28.7	20.1	24.4	22.6	16.9	23.3	19.0		
在庫 前期比	2.5	8.0	4.1	1.2	2.4	3.0	0.0	-2.4		
資金繰り 前期比	-6.8	-16.6	-16.0	-9.8	-12.0	-16.7	-17.3	-14.9		
借入 前期比	0.0	-1.9	-11.4	0.0	1.2	-8.0	-7.1	-9.2		
所定外労働時間 前期比	-1.9	-8.6	-12.9	-15.6	-7.1	-14.9	-10.4	-10.7		
雇用者数 前期比	1.9	-2.4	-1.2	-4.1	-1.8	-6.0	0.0	-0.6		
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-25.9	-27.2	-22.2	-16.0	-26.1	-19.5	-18.6	(調査なし)		
設備投資実施比率 (%)	29.7	23.0	27.4	29.4	30.9	26.5	23.3	31.9		

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

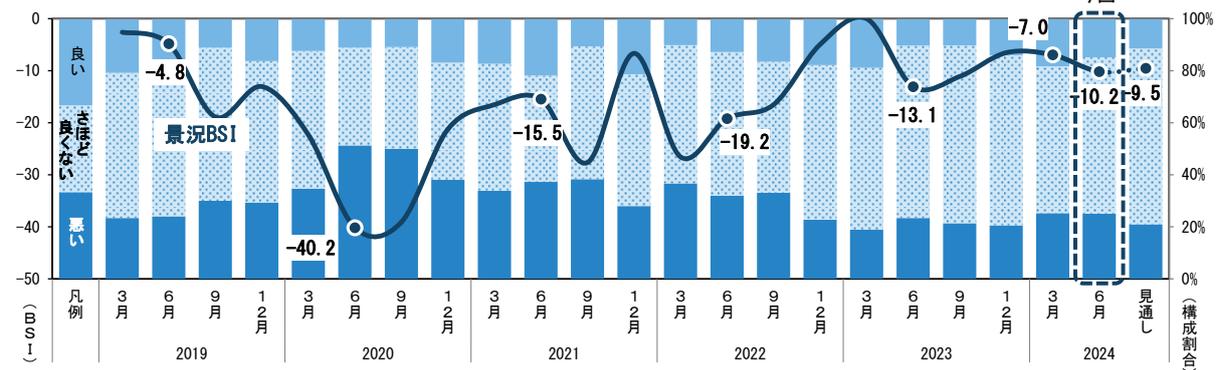
### 3. 和歌山県内の景気動向

#### 4 卸売業の景況感

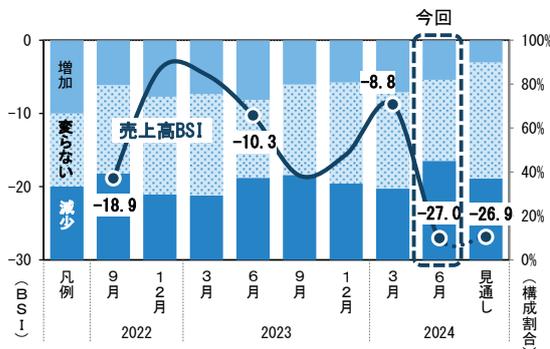
総括 景況 BSI は 3.2 ポイント下降（下降は 2 期連続）

- 要点
- ① 特に機械器具卸売業で景況 BSI が 7.7 ポイントの下降
  - ② 資金繰りが「悪化」している事業者が増加傾向

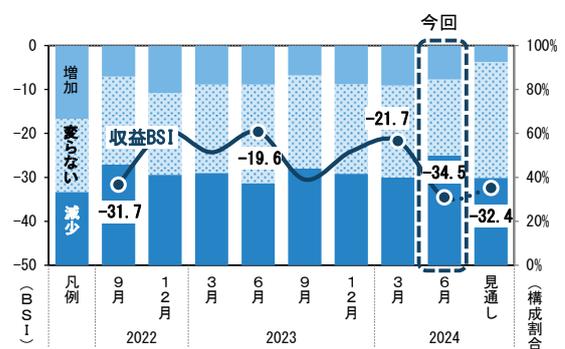
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	今回	見通し
	過去実績									
仕入価格 前期比	80.4	67.3	57.0	59.8	55.0	58.8	57.9	45.2		
販売価格 前期比	53.0	41.1	42.1	31.9	29.6	41.6	35.2	26.2		
在庫 前期比	24.0	-1.9	-1.9	-4.4	-6.5	2.7	-0.9	-12.1		
資金繰り 前期比	-9.8	-3.8	-2.8	-7.6	-9.1	-12.9	-14.4	-8.5		
借入 前期比	-3.9	-3.8	-10.2	-13.0	-9.4	-1.8	-4.5	-7.6		
所定外労働時間 前期比	-3.9	-7.5	-9.2	-7.6	-12.8	-12.1	-11.7	-6.5		
雇用者数 前期比	1.0	-1.0	0.0	-0.8	-8.3	-1.8	0.0	1.9		
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-25.5	-21.9	-15.9	-16.8	-31.4	-32.4	-19.4	(調査なし)		
設備投資実施比率 (%)	20.4	17.3	24.8	23.1	22.9	14.4	21.2	19.1		

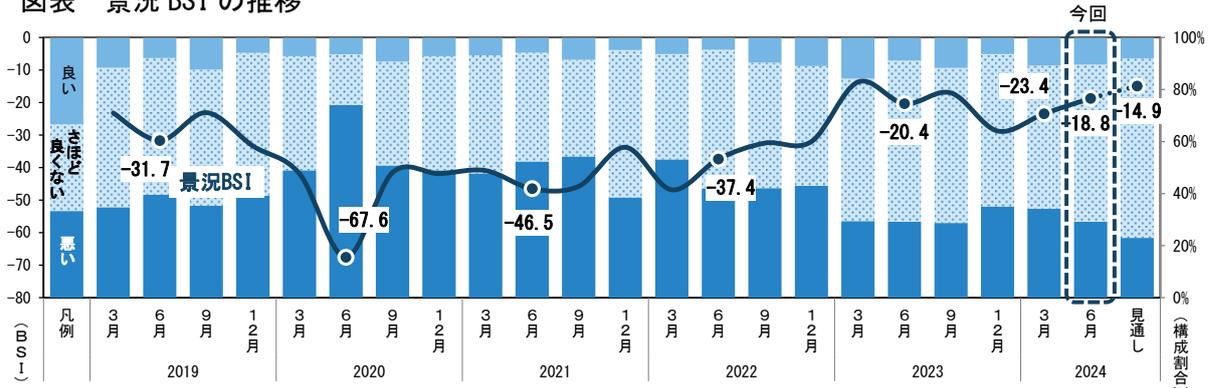
(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

## 5 小売業の景況感

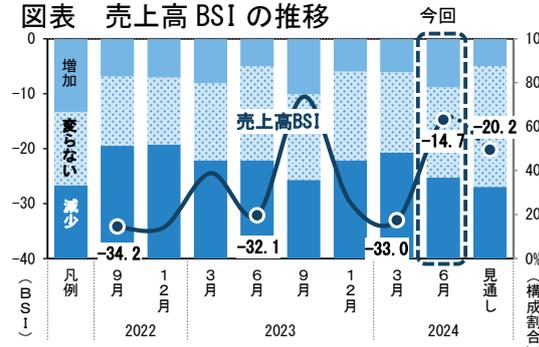
総括 景況 BSI は 4.6 ポイント上昇（上昇は 2 期連続）

- 要点
- ① 特にその他の小売業で景況 BSI が 15.6 ポイント上昇
  - ② 人手不足感はやや緩和（2 期連続で雇用適正度が上昇）

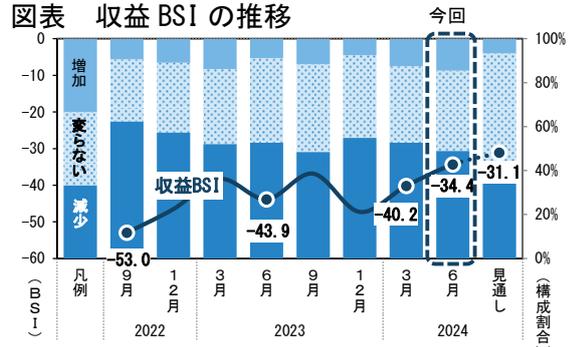
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023			2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
	過去実績							今回	見通し
仕入価格 前期比	62.0	53.7	58.8	66.3	67.0	58.0	63.5	57.8	
販売価格 前期比	27.0	24.2	26.3	33.7	27.7	28.8	34.4	35.6	
在庫 前期比	-8.2	-5.3	0.9	-9.6	2.2	-4.5	-1.0	-3.4	
資金繰り 前期比	-28.7	-17.0	-20.4	-20.2	-14.7	-15.3	-17.7	-15.7	
借入 前期比	-4.0	-13.7	-10.0	-7.8	-12.2	-15.7	-15.8	-8.0	
所定外労働時間 前期比	-8.8	-2.1	-9.6	-3.2	-2.1	-9.8	-5.2	-3.3	
雇用者数 前期比	-10.0	-5.4	-8.0	-4.3	-3.2	0.0	0.0	-5.6	
雇用適正度 値が低いほど「不足」	-26.0	-21.7	-21.6	-26.1	-33.0	-30.0	-26.3	(調査なし)	
設備投資実施比率 (%)	14.1	19.6	17.3	20.5	16.1	20.2	14.7	23.8	

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

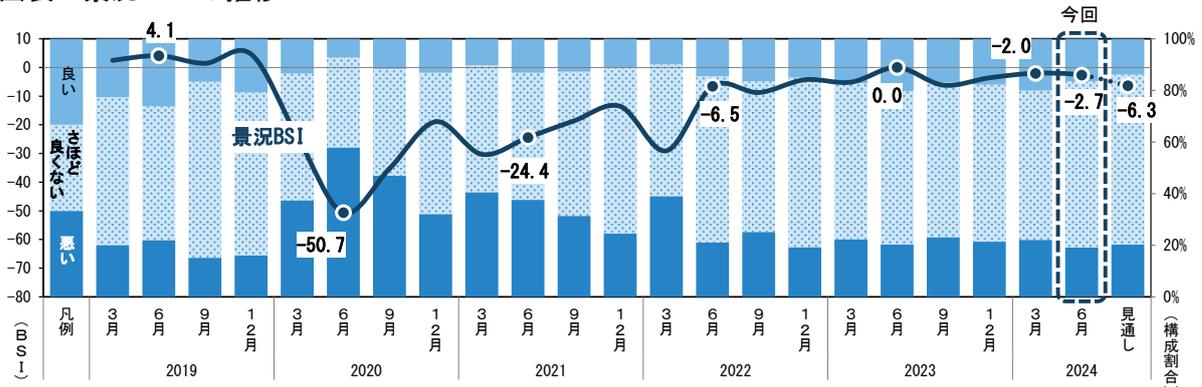
### 3. 和歌山県内の景気動向

#### 6 サービス業の景況感

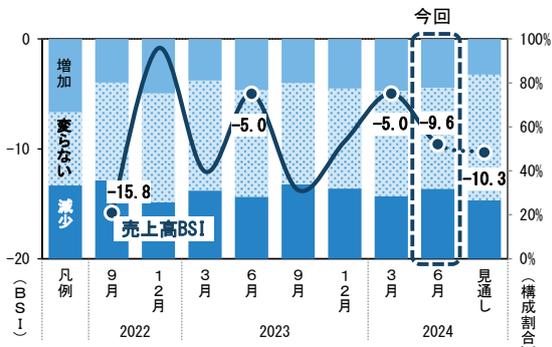
総括 景況 BSI は、0.7 ポイント下降（2 期ぶりの下降）

- ① 特に不動産業で景況感が 14.2 ポイントの下降  
 ② 雇用者数 BSI が 6 年ぶりにプラス水準まで上昇。特に運輸業、飲食業で従業員が「増加」したとする回答が多い

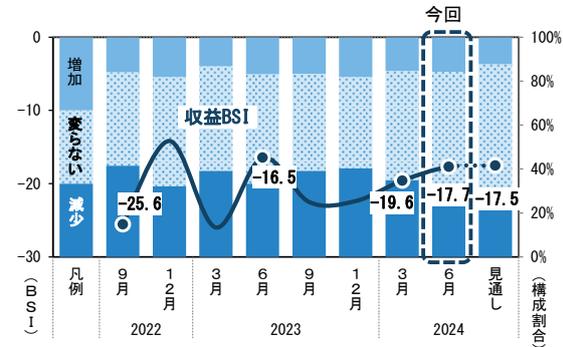
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023			2024		2024	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
	過去実績						今回	見通し	
仕入価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)	
販売価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)	
在庫 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)	
資金繰り 前期比	-9.2	▲ -14.8	◇ -6.3	▲ -8.7	◇ -8.3	⇒ -8.3	▲ -12.2	▲ -12.4	
借入 前期比	-12.3	◇ -9.9	◇ -3.5	▲ -11.8	◇ -4.5	◇ -1.3	▲ -10.8	◇ -9.0	
所定外労働時間 前期比	-1.3	▲ -2.2	▲ -4.6	◇ -2.0	◇ 4.0	▲ -7.4	▲ -7.6	◇ -6.7	
雇用者数 前期比	-7.6	▲ -10.1	◇ -5.4	◇ -5.3	▲ -9.4	◇ -4.9	▲ 2.7	▲ -1.6	
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-40.5	◇ -36.8	▲ -38.9	▲ -40.6	▲ -42.6	◇ -33.1	◇ -26.7	(調査なし)	
設備投資実施比率 (%)	22.5	◇ 24.4	◇ 26.2	▲ 23.4	⇒ 23.4	◇ 27.7	▲ 20.4	◇ 31.6	

(\*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

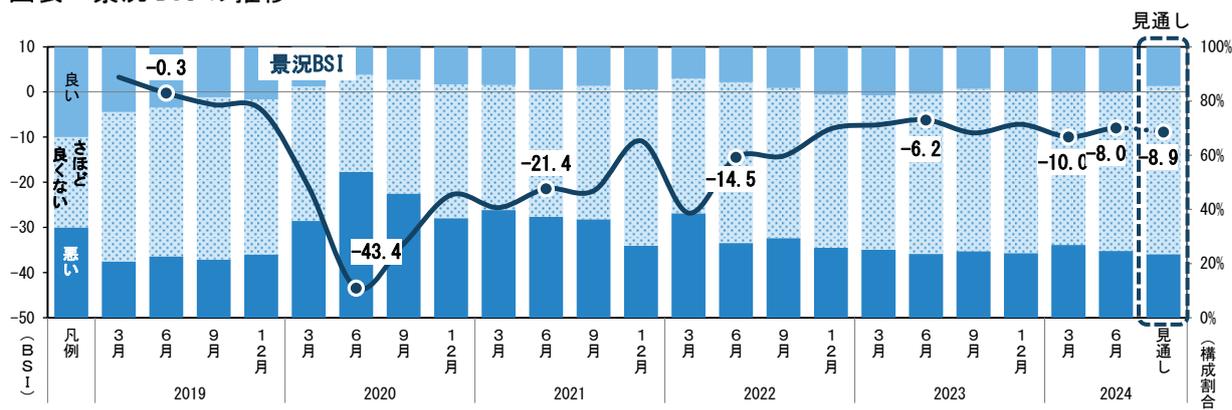
## 4. 今後の景気の見通し

### 1 見通し

**総括** 国内経済は緩やかに持ち直す見込みの中、県内景況 BSI は概ね横ばいに推移

- 要点**
- ① 国内経済は、実質賃金の改善や個人消費の回復で緩やかな持ち直しの動きが見込まれる
  - ② 県内経済は、製造業、小売業で業況改善傾向が見られる

図表 景況 BSI の推移



### 2 国内主要シンクタンクによる国内経済見通し（実質 GDP 成長率[対前年比]）

	2024 年度	2025 年度	ポイント
第一生命経済研究所	+0.5%	+1.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24 年度の成長率の見通しは、前回予測（24 年度 3 月時点）より 0.3%の上方修正。要因は、24 年春闘で予想を大きく上回る賃上げが実現し、個人消費持ち直しの確度が上昇したこと等があげられる</li> <li>・ 24 年度の景況感は、自動車の不正問題により下押しされるものの、個人消費の回復や企業の設備投資の増加により回復が見込まれる</li> </ul>
大和総研	+0.9%	+1.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定額減税、自動車の挽回生産、インバウンド需要の増加、高水準の家計貯蓄、シリコンサイクルの回復などが日本経済を下支え</li> </ul>
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング	+0.6%	+1.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い賃上げ率の反映により、実質賃金の改善や定額減税に伴う個人消費の回復に期待</li> <li>・ 企業の業績改善を背景に企業の投資意欲の強さが維持され、設備投資は底堅さを維持</li> </ul>
ニッセイ基礎研究所	+0.7%	+1.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24 年度の成長率の見通しは、自動車の挽回生産による消費、設備投資、輸出等の押し上げ効果や所得・住民減税の効果が顕在化することから高めの成長が見込まれる</li> </ul>

## 5. 経営上の問題点

### 総括 「原材料価格の高騰」が3期ぶりに増加

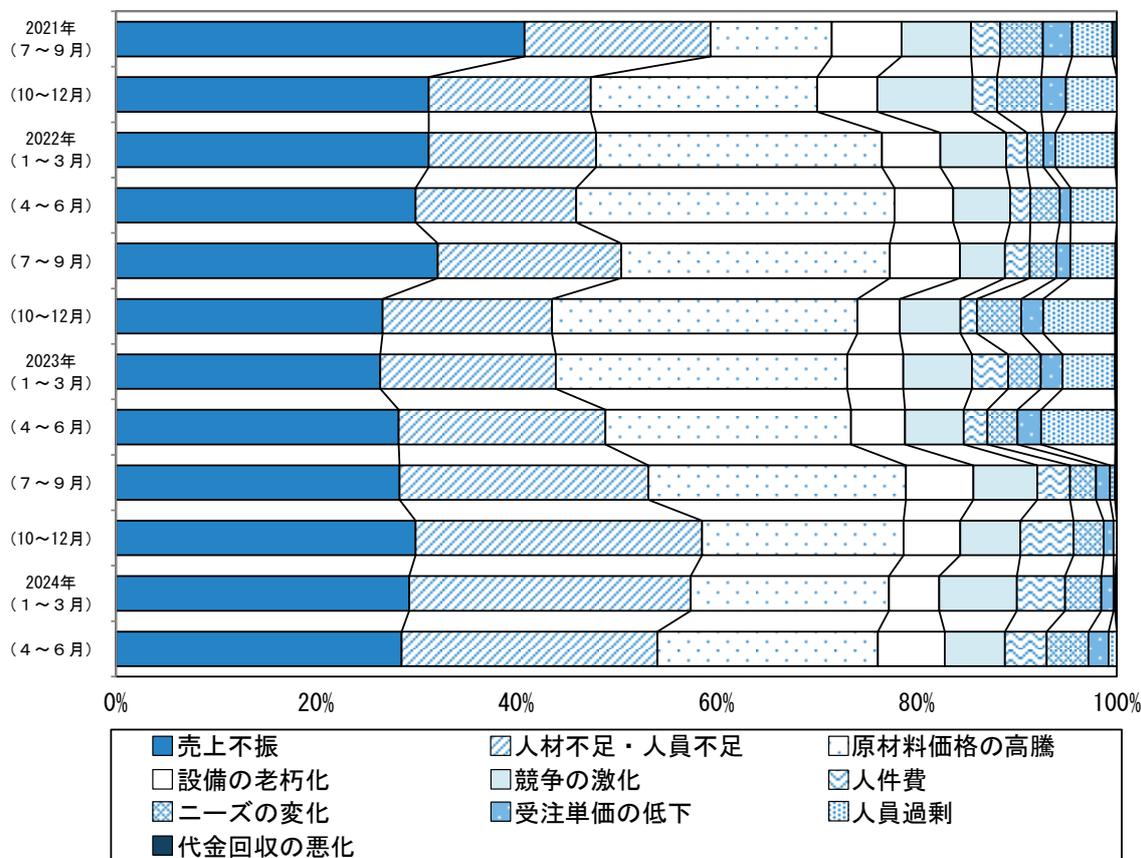
- ① 1位は「売上不振」。前回から0.8ポイント減少  
 ② 2位は「人材不足・人員不足」。前回から2.6ポイント減少。ただし、製造業等で増加  
 ③ 3位は「原材料価格の高騰」。前回から2.2ポイント増加。ただし、建設業等で減少

#### 経営上の問題点（主なもの）

	1位	2位	3位	4位
前々回 (2023年10~12月)	売上不振 30.0%	人材不足・人員不足 28.6%	原材料価格の高騰 20.1%	競争の激化 6.0%
前回 (2024年1~3月)	売上不振 29.3%	人材不足・人員不足 28.1%	原材料価格の高騰 19.8%	競争の激化 7.8%
今回 (2024年4~6月)	売上不振 28.5%	人材不足・人員不足 25.5%	原材料価格の高騰 22.0%	設備の老朽化 6.7%

**注意** 3回前調査より選択肢の一部を変更 【変更前】「人材不足」 → 【変更後】「人材不足・人員不足」  
 【変更前】「人員不足・人員過剰」 → 【変更後】「人員過剰」

経営上の問題点の推移

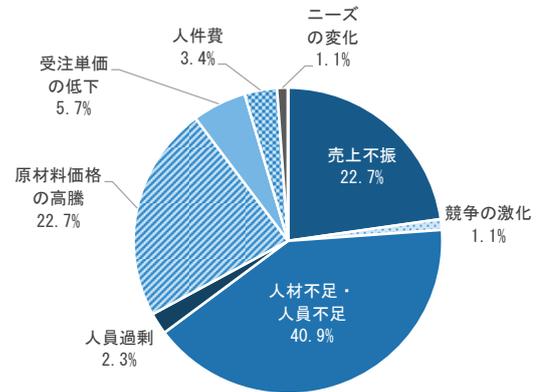


□ 産業別経営上の問題点（上位3項目）

（ ）内の丸数字は前回順位、数値は前回調査値

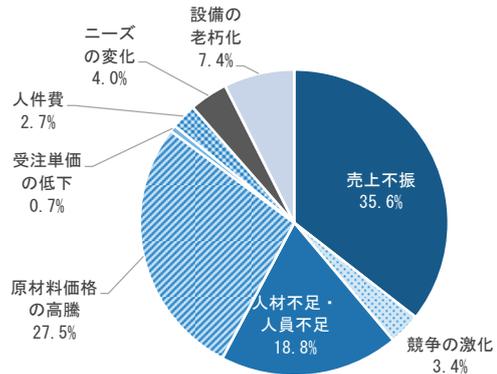
【建設業】「人材不足・人員不足」が1位

1. 人材不足・人員不足… 40.9% (①39.0%)
2. 原材料価格の高騰… 22.7% (②21.5%)
2. 売上不振… 22.7% (③20.4%)



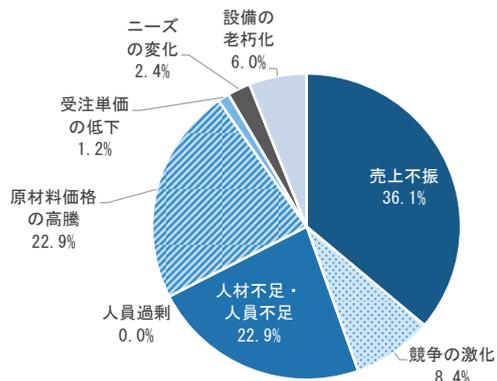
【製造業】「売上不振」は4ポイント増加

1. 売上不振… 35.6% (①31.6%)
2. 原材料価格の高騰… 27.5% (②28.7%)
3. 人材不足・人員不足… 18.8% (③20.6%)



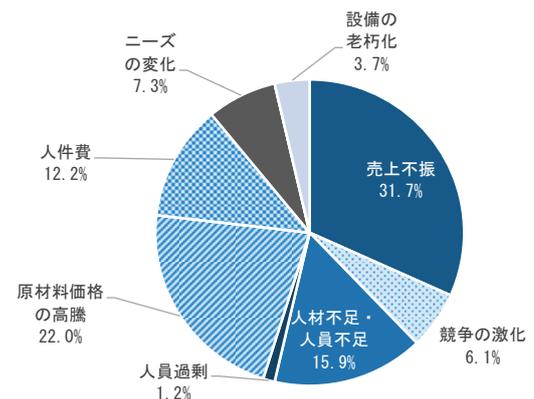
【卸売業】「売上不振」が4.2ポイント増加

1. 売上不振… 36.1% (①31.9%)
2. 人材不足・人員不足… 22.9% (③23.1%)
2. 原材料価格の高騰… 22.9% (②20.9%)



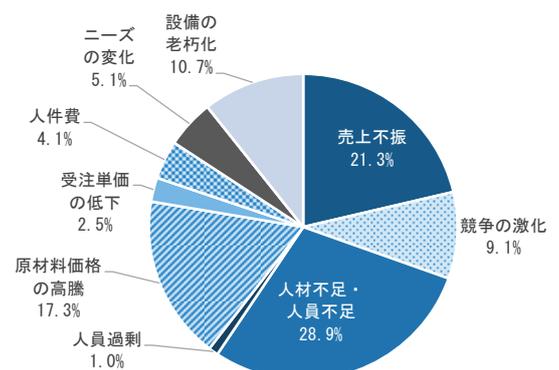
【小売業】「売上不振」が9.6ポイント減少

1. 売上不振… 31.7% (①41.3%)
2. 原材料価格の高騰… 22.0% (②16.3%)
3. 人材不足・人員不足… 15.9% (③20.7%)



【サービス業】「原材料価格の高騰」が2.1ポイント増加

1. 人材不足・人員不足… 28.9% (①35.3%)
2. 売上不振… 21.3% (②20.7%)
3. 原材料価格の高騰… 17.3% (③15.2%)



## 6. 県内経済指標

### 1 県内経済指標から見る和歌山県経済

総括 個人消費・企業活動ともに弱さが見られ、雇用環境に悪影響が及んでいる

- 要点
- ① 鉱工業生産指数の低迷が続いている
  - ② 百貨店・スーパー販売額が約2年ぶりに、2か月連続で前年を下回った
  - ③ 有効求人倍率が3か月連続で下降。ただし、新規求人数は横ばいで推移

#### □ グラフで見る和歌山県経済指標（データ基準月：5月 ※鉱工業生産指数は4月）

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								有効求人倍率		充足率	
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	全国 (倍)	和歌山県 (倍)	パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1.61	1.34	19.6	18.1
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1.60	1.41	17.6	17.1
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1.18	1.05	16.2	18.8
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1.13	1.09	15.2	18.2
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1.28	1.15	14.8	16.8
2023年4月	105.2	94.0	78.9	93.4	98.0	102.3	105.1	134.5	1.32	1.15	15.4	21.0
5月	104.1	95.8	82.4	95.0	101.4	105.9	102.6	154.6	1.32	1.15	16.5	20.2
6月	105.0	89.1	80.2	88.7	99.5	99.5	116.0	131.1	1.31	1.13	14.0	17.8
7月	103.5	91.3	84.2	84.1	100.2	95.7	103.1	112.8	1.30	1.12	14.1	15.4
8月	103.1	90.1	76.0	89.7	89.1	93.7	111.8	135.3	1.30	1.13	13.3	14.5
9月	103.2	89.9	83.6	87.6	86.3	105.3	106.4	164.8	1.29	1.12	15.4	17.0
10月	104.4	90.3	77.4	95.6	88.6	103.8	100.6	149.7	1.29	1.10	14.8	16.2
11月	103.8	87.7	76.5	98.4	80.7	20.6	102.3	149.6	1.27	1.10	14.9	50.9
12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	1.27	1.10	13.0	15.4
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	1.27	1.14	10.8	11.8
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	1.26	1.18	14.1	18.3
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	1.28	1.15	17.1	24.2
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.0	142.4	1.26	1.14	16.5	19.3
5月	103.6								1.24	1.10	15.3	21.3

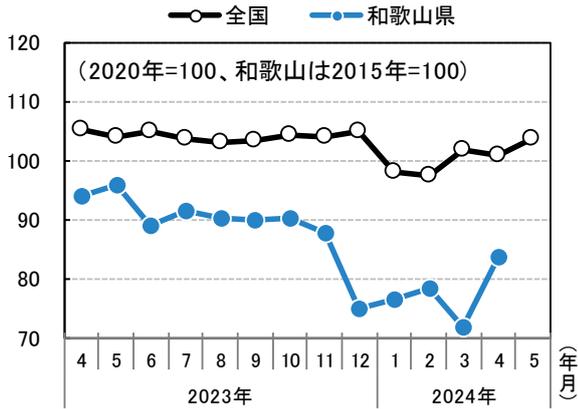
	百貨店・スーパー販売額		新車登録台数			新設住宅着工戸数			公共工事請負額		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	登録台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	22,509	-1.3	-2.3	4,935	-2.3	8.7	1,487.6	15.1
2019年	1,188	-1.1	-1.9	22,456	-1.9	-0.2	5,188	-4.0	5.1	1,585.1	6.6
2020年	1,133	-5.4	-5.4	20,217	-12.3	-10.0	4,514	-9.9	-13.0	1,847.2	16.5
2021年	1,093	0.9	-3.7	18,949	-2.9	-6.3	4,591	5.0	1.7	1,806.3	-2.2
2022年	1,090	3.8	-0.3	17,299	-8.3	-8.7	4,758	0.4	3.6	1,584.1	-12.3
2023年4月	88.4	5.2	2.2	1,571	23.1	34.2	312	-11.9	-19.8	205.7	8.7
5月	88.5	3.7	2.0	1,464	28.1	36.7	278	3.5	-25.9	162.9	-17.7
6月	88.5	4.3	1.0	1,823	31.5	35.6	225	-4.8	-34.6	155.3	-10.1
7月	93.4	5.9	2.7	1,770	18.3	23.9	390	-6.7	8.9	150.4	3.5
8月	96.1	6.5	2.6	1,368	19.4	15.5	415	-9.4	-4.8	101.6	-42.5
9月	87.2	4.8	2.6	1,830	12.5	9.1	346	-6.8	-34.8	176.8	6.5
10月	88.5	4.0	-1.0	1,615	14.9	12.4	446	-6.3	19.9	106.5	5.9
11月	92.3	4.4	0.2	1,700	15.1	13.9	325	-8.5	-3.8	92.3	57.7
12月	106.2	2.6	-1.5	1,516	11.1	1.1	218	-4.0	-50.9	143.9	225.0
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	1,501	-5.5	-10.3	269	-7.5	-24.0	107.7	65.4
2月	86.7	7.6	0.0	1,531	-16.0	-16.3	205	-8.2	-45.8	71.5	8.8
3月	87.2	6.9	1.5	2,128	-19.9	-12.2	305	-12.8	12.5	164.9	-42.2
4月	87.2	3.0	-1.3	1,442	-5.7	-8.2	354	13.9	13.5	180.4	-12.3
5月	87.1	0.0	-1.5	1,331	-2.4	-9.1	488	-5.3	75.5	196.1	20.3

(注1) 鉱工業生産指数、有効求人倍率は季節調整値[ただし、年次値は除く]

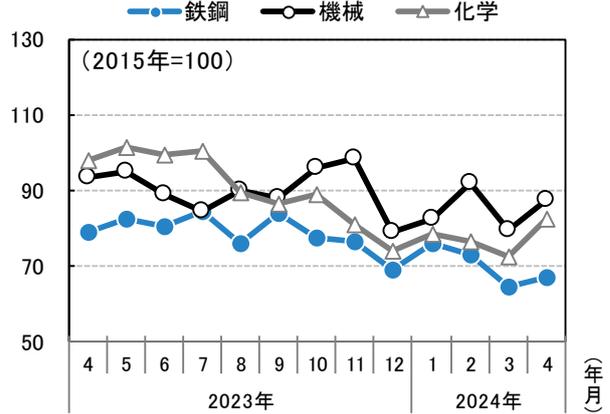
(2024年7月1日に取得可能な資料より作成)

(注2) 「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。

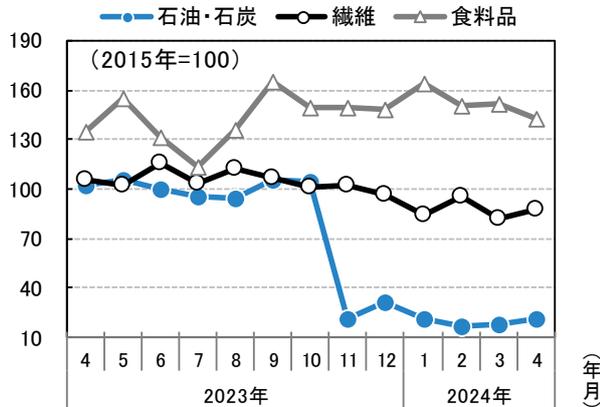
### 鉱工業生産指数



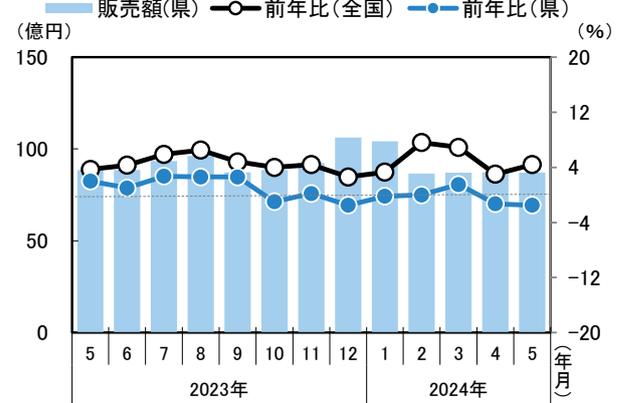
### 鉱工業生産指数(和歌山県)



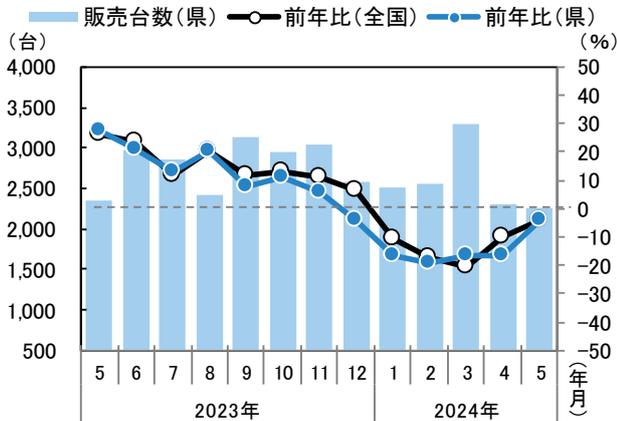
### 鉱工業生産指数(和歌山県)



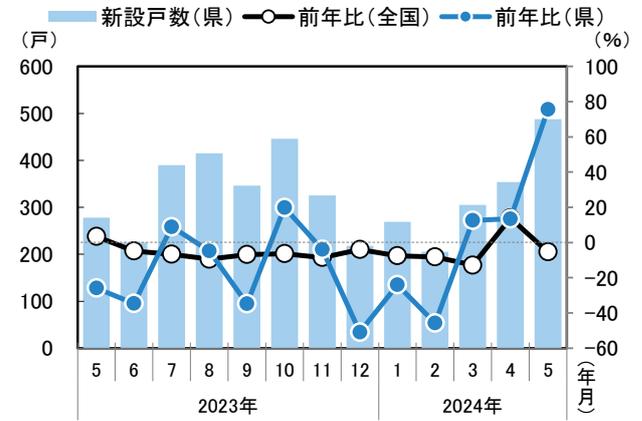
### 百貨店・スーパー販売額



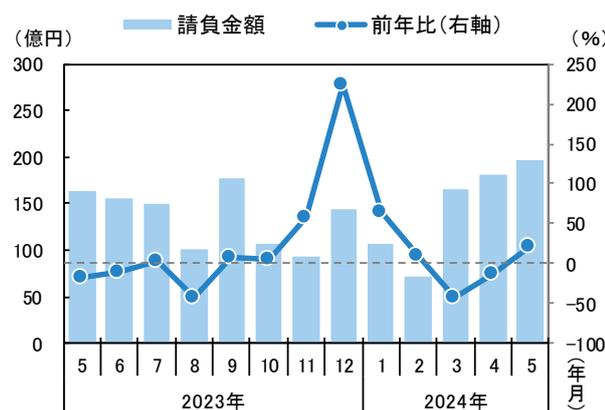
### 新車(登録車+軽自動車)販売台数



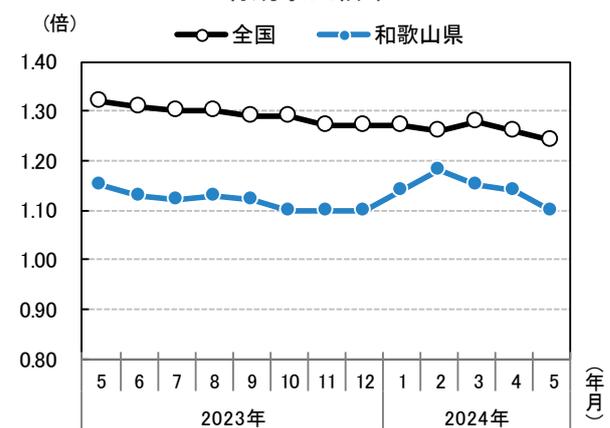
### 新設住宅着工戸数



### 公共工事請負金額(和歌山県)



### 有効求人倍率





[www.wsk.or.jp](http://www.wsk.or.jp)

---

一般財団法人 和歌山社会経済研究所

〒640-8033 和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL 073 (432) 1444 FAX 073 (424) 5350

---

発行日 : 2024 年 7 月 31 日